

平成29年度 議会報告会

結果報告書



栃木市議会
議会報告会運営委員会



－報告書目次－

1. 開催概要	1
2. 議会報告に対する質疑と回答	4
3. フリートークの概要	9
4. フリートークで出された要望	
(1) 議会に対する要望	10
(2) 市執行部に対する要望	
①総合政策部	11
②総務部	11
③財務部	12
④生活環境部	12
⑤保健福祉部	13
⑥こども未来部	13
⑦産業振興部	13
⑧建設水道部	14
⑨都市整備部	15
⑩教育部	15
⑪生涯学習部	16
⑫選挙管理委員会	16
⑬消防本部	16
5. 常任委員会意見交換における意見等	17
6. アンケート結果	
(1) 議員アンケート	21
(2) 市民アンケート	27
7. 平成30年度議会報告会への提言	32
参考資料	
・議会報告会運営委員会の設置	34
・平成29年度栃木市議会報告会開催要領	35
・議会報告会運営委員会開催状況	39
・議会報告資料	40
・フリートークにおける主な意見、要望、回答	50

1. 開催概要

(1) 開催結果

日 程	会 場	参加者数 (人)	開催時間 (分)	フリートーク (分)
10月20日 (金)	市役所市民スペース	25	85	40
10月26日 (木)	寺尾公民館	22	94	36
	栃木文化会館	23	90	30
10月27日 (金)	国府公民館	24	94	38
	大平健康福祉センター	32	85	29
10月30日 (月)	真名子夢ホール	22	89	40
	岩舟公民館	17	92	35
10月31日 (火)	都賀公民館	13	87	40
	藤岡公民館	20	102	40
参加者数合計 (A)		198		
1会場あたりの平均		22		
平成28年度実績 (8会場)		258人 / 平均32人		

常任委員会(意見交換会)

委員会名	日程・場所	参加者数 (人)
	相手・テーマ	
総務常任委員会	11月13日 (月) 國學院大學栃木短期大学	10
	國學院大學栃木短期大学学生 ・本市のまちづくりに期待することについて	
民生常任委員会	11月1日 (水) 栃木市役所 (全員協議会室)	8
	介護事業者、相談支援包括化推進員 ・地域包括ケアシステムの現状について	
産業教育常任委員会	11月2日 (木) 栃木市役所 (全員協議会室)	7
	農業ビジョン策定委員 ・これからの本市における農業振興について	
建設常任委員会	10月24日 (火) 栃木市役所 (全員協議会室)	29
	栃木市建設業協同組合 ・建設業関連事業の現状と課題について	
合 計(B)		54

平成29年度参加者合計

(A)+(B)

252

(2) 班編成

班名・会場	氏名	班名・会場	氏名
1 班 寺尾公民館 都賀公民館	大谷 好一	2 班 国府公民館 真名子夢ホール	小久保 かおる
	渡辺 照明		松本 喜一
	白石 幹男		針谷 正夫
	氏家 晃		大出 三夫
	長 芳孝		千葉 正弘
	岡 賢治		入野 登志子
	小堀 良江		大武 真一
	中島 克訓		海老原 恵子
3 班 栃木文化会館 大平健康福祉センター	坂東 一敏	4 班 岩舟公民館 藤岡公民館	茂呂 健市
	古沢 ちい子		青木 一男
	平池 紘士		針谷 育造
	大阿久 岩人		広瀬 昌子
	大川 秀子		関口 孫一郎
	広瀬 義明		天谷 浩明
	永田 武志		福富 善明
	高岩 義祐		梅澤 米満
	福田 裕司		

(議席番号順)

(3) 報告会内容

報告会は、議会報告、質疑応答を第1部とし、フリートーク、まとめとしてグループごとの発表を第2部とし、あわせて1時間30分程度の会議を基本とする。

- (1) 開会 (司会)
- (2) あいさつ (班長)
- 自己紹介 (議員)

《第1部》

- (3) 議会報告 (10分) (各班報告者)
 - ①議会改革について
 - ②これまでに報告会でいただいた意見について
- (4) 報告に対する質疑 (5分)



《第2部》

- (5) フリートーク (60分)

1 グループ10人程度を目安とし、参加人数に応じてグループ分けを行い、テーマを決めず参加者と議員が自由に意見交換を行う。(議員は各グループに2～3人ずつ入り、進行役と書記を行い、最後にグループで出た意見を発表する。)
- (6) まとめ (10分) (意見発表)
- (7) 閉会 (司会)



2. 議会報告に対する質疑と回答

○栃木市役所（1階市民スペース） 10月20日（金）

Q：市へ提言した項目についてターゲット、マイルストーン、ロードマップを設定しているか。

A：議会として問題点などを提言し、行政では総合計画に基づき事業に取り組んでいくと思う。今回の報告は始まりであり、議会としても頑張っていきたい。



Q：「小中学校適正配置基本方針」と「コミュニティ・スクール」について説明してほしい。

A：「小中学校適正配置基本方針」については、合併後の学区の見直しなどを踏まえ、小さな学校の統合を含めた適正な小中学校の配置を考えるものである。

「コミュニティ・スクール」については、地域の代表や保護者で構成される学校運営協議会のある学校のことである。

（要望）

- ・メディカルセンターしもつがの駐車場を拡張してもらいたい。
- ・防犯カメラの設置補助にあたっては、自治会任せではなく、行政にも協力してもらいたい。

○寺尾公民館 10月26日（木）

Q：自転車の乗車時にヘルメットを被らないと反則金はあるのか。

A：反則金はないが、安全性を考えるとヘルメットを着用してほしい。

Q：議員定数を30人とした根拠は。

A：同様の人口規模の自治体を参考に検討し、今後の人口減少も考え30人とした。

Q：今後、議員定数を30人以下にする考えはあるか。

A：市民の皆様の意見を伺いながら検討していく。

Q：自転車専用レーンを学校の近くにはもっと増やしてほしい。

A：警察署と連携し、設置をお願いしたい。

Q：寺尾中のトイレが汚い。早急に直してほしい。

A：平成32年度までに改修予定となっている。早期の改修を要望する。

Q：消防団の統合により消防機械器具置場が解体の予定と聞いたが、出流地区の防災組織の防災拠点として残してほしい。

A：市へ要望として伝える。

Q：市長あて提出するのは「提言書」ではなく、幅広く検討した結果として出す「建議書」ではないかと思う。また、語尾は「努められたい」ではなく、「努めること」ではないか。提言事項の実行率はどれくらいなのか。

A：検討していきたい。実行率は調べてお知らせする。

○栃木文化会館 10月26日（木）

Q：自転車の条例を作ったが、人は右、自転車は左の徹底をしてもらいたい。

A：学校教育などで交通ルールの周知を図っていきたい。

Q：外国人の方が交通ルールを守っていないので周知をしてもらいたい。

A：条例は企業や学校で交通ルールを学ぶ機会を設けてもらうものとなっている。外国語での周知についても検討したい。

Q：消防団の充実強化とは何か。

A：消防団員の確保はどこの地域でも苦勞している。自治会をあげて確保に努めているようである。

Q：メディカルセンターしもつがに産科を設置してほしい。

A：議会としても要望していきたい。

（要望）

・議会傍聴者にスクリーンなどで議案等の説明がほしい。

○国府公民館 10月27日（金）

Q：月3万円の政務活動費で活動が十分できるのか。また、何に使っているのか。

A：執行率は60～70%なので十分である。用途は研修費や事務用品である。飲食代は認められていない。



Q：栃木市の国政選挙の選挙区が分かれていることに対してどう思うか。

A：3選挙区に分かれていてやりにくいとは思いますが、国の制度のため変えることは難しい。

Q：メディカルセンターしもつがは医師不足で機能が十分に発揮できていないのではないか。

A：引き続き医師の確保を要望していく。

○大平健康福祉センター 10月27日(金)

Q：自転車条例の中に放置自転車のことは定めていないのか。

A：条例の検討段階では放置自転車についても協議していた。放置自転車防止の徹底を図っていききたい。



Q：メディカルセンターしもつがに食堂がないと思うが、整備は進んでいるのか。また、地元大学病院への医師派遣の要請は順調なのか。

A：コンビニと休憩場所があるので、食事はそこで済ませているようである。医師確保については、努力していると思う。

Q：メディカルセンターしもつがの待合室にテレビを設置してほしい。また、駐車料金が安いのではないのか。

A：市へ要望する。

Q：消防団のPRのためにも「消防団だより」を発行してほしい。

A：消防団確保の手段にもなると思うので、市へ報告したい。

(要望)

・消防団の通常点検は素晴らしいものなので、もっとPRして子ども達に見てもらいたい。

○真名子夢ホール 10月30日(月)

Q：議会で使用しているタブレットは承認行為を行っているのか。

A：承認行為は行っていない。PDF化した資料を見ている。

Q：今年度になって防災ラジオは何回放送したのか。

A：土砂崩れの時など2回だったと思う。

(要望)

・大雨の時、防災無線がよく聞こえない。防災ラジオも同時に放送した方が良い。

○岩舟公民館 10月30日(月)

Q：議員はタブレット端末を活用できているのか。

A：当初は不安もあったが、現在はほとんどの議員が活用できている。

Q：自転車専用レーン設置検討の状況は。

A：設置するのに難しい部分もあるが、少しでも多く設置できるように要望していきたい。

Q：台風の際に三谷地区の市道を雨水が横断していた。現地を確認してもらいたい。

A：岩舟総合支所内に道路河川維持課の担当部署があるので、担当部署に伝えたい。

Q：古江地内に水道管理設後、一部復旧工事が行われたが全面復旧が実施されていない。どのように要望したらいいか。

A：自治会長名で要望してもらいたい。

○都賀公民館 10月31日(火)

Q：北朝鮮のミサイル発射により小中学生が学校から帰宅させられた。なぜ、そんな時代遅れの対応をするのか。

A：担当課へ伝える。

Q：台風の際に誰も避難しないのに、避難指示の情報を出すのか。

A：住民の安全を第一に考えての指示だったと思う。



(要望)

・エアコン設置については、普通教室だけでなく、特別教室にも設置するべきである。

○藤岡公民館 10月31日(火)

Q：防災ラジオの販売条件は。

A：販売に制限はないが、75歳以上のみの世帯は2,500円で購入できる。

Q：防災無線がよく聞こえない。

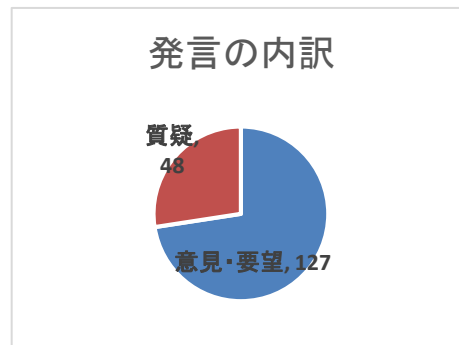
A：聞きづらい所は調査して改善している。防災ラジオ、FMくらら、ケーブルテレビなど多方面から情報を収集してもらいたい。



3. フリートークの概要

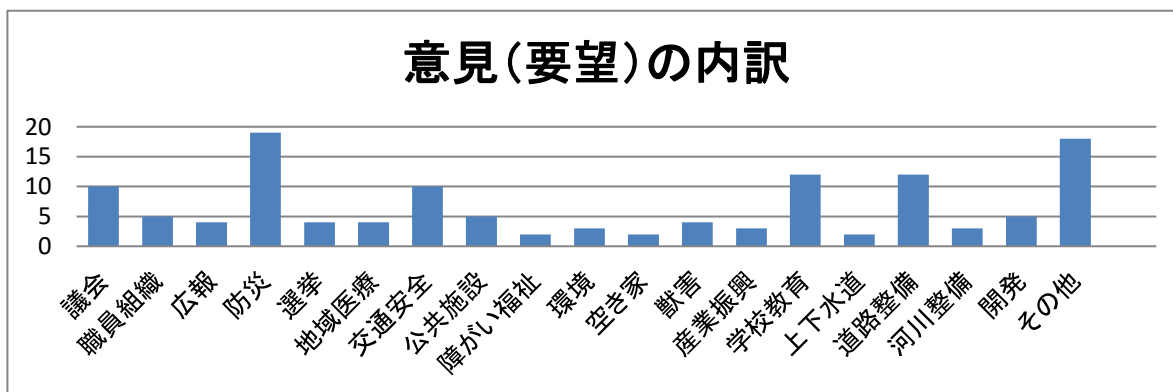
(1) 市民からの発言の内訳

意見・要望	127件
質疑	48件
計	175件



(2) 意見（要望）の内訳

議会について	10件
職員組織について	5件
広報について	4件
消防防災について	19件
選挙について	4件
地域医療について	4件
交通安全について	10件
公共施設について	5件
障がい福祉について	2件
環境について	3件
空き家について	2件
獣害について	4件
産業振興について	3件
学校教育について	12件
上下水道について	2件
道路整備について	12件
河川整備について	3件
開発について	5件
その他	18件
計	127件



4. フリートークで出された要望

(1) 議会に対する要望

① 議会報告会について

- ・議会報告会の資料を参加者のタブレットでも見られるようにしてほしい。
- ・議会報告会では議員と話することができるし、いろいろ報告も受けられるので、今後も続けてもらいたい。報告も分かりやすくよかった。
- ・議会報告会は子どものいない平日昼間の開催が良い。
- ・報告の中で市民に関係する報告は自転車の条例だけだった。もっと市民に関係する活動をしてもらいたい。
- ・議会報告会の開催時期は良いが、開催時間を日曜日の昼間にした方が参加者も増えるし、若い人の意見も聞くことができるのではないか。
- ・議会報告会の参加人数が少ないと思うので、自治会の役員が参加できるような環境づくりをしてはどうか。

② 議会や議員について

- ・議場にある大型モニターの採決は傍聴席からよく見えない。また、議員の顔も見えない。
- ・議会傍聴者にスクリーンなどで議案等の説明がほしい。
- ・メディカルセンターしもつがの経営は非常に厳しい。議会としてチェックするべきだ。
- ・人口減少やインフラの老朽化の栃木市の対応について議会でも研究し、市の計画に対して議会の考えを示してはどうか。
- ・政務活動費の透明化に力を入れるなら政務活動費を廃止して、議員報酬に組み入れてはどうか。
- ・市及び議会の広報はイベントや結果の記載が多い。協働を念頭に行政運営するのであれば、市民が活動した結果や市民に活動していただきたい事項を掲載する必要がある。

(2) 市執行部に対する要望

① 総合政策部

○ 広報について

- ・市及び議会の広報はイベントや結果の記載が多い。協働を念頭に行政運営するのであれば、市民が活動した結果や市民に活動していただきたい事項を掲載する必要がある。
- ・広報とちぎは文字が小さく色合いが悪い。市民が読みやすい広報紙にしてもらいたい。

○ その他

- ・伝建地区になったことで蔵の改修が難しくなった。規制緩和をお願いしたい。
- ・自治会への財政的支援をお願いしたい。
- ・寺尾南小学校跡地の活用をふれあいトークで4年続けて要望しているが、地元の意見が反映されない。
- ・人口が減少していく中で、表流水が必要なのか。市の説明は不十分と思われる。
- ・栃木県の30～40歳代の未婚率は男女ともに高い。結婚相談所を作るなど対策を取ってもらいたい。

② 総務部

○ 防災について

- ・ケーブルテレビでの避難指示等が「鍋山地区」だけでは場所が分からないので、もっと細分化してほしい。
- ・避難指示の場合は、自治会長や民生委員に直接連絡して指示した方が良いのではないか。
- ・寺尾小学校が指定避難場所ではなくなったが、住民への周知もなく、標識もそのままである。早急に周知を図るべきではないか。
- ・防災行政無線は320mで聞こえなくなる地域もある。機器改修と支援者制度の周知を検討されたい。
- ・自主防災組織への活動補助金の増額をしてもらいたい。
- ・台風被害の状況をケーブルテレビで中継していたが、市内のどの場所なのか字幕を付けてほしい。
- ・防災無線で流れる市民の歌はとても良いので、昼にも流してほしい。また、子どもが歌ったものなどを日替わりで流してはどうか。
- ・防災訓練を各地域で毎年実施してほしい。
- ・防災行政無線が遊楽々館に設置予定となっているが、もっと情報が伝わりやすい別の場所にできないか。

・大雨の時、防災無線はよく聞こえない。防災ラジオも同時に放送した方が良い。

○組織、職員について

・市役所に行くとき窓口をたらい回しにされる。職員教育をしっかりとしてほしい。
・寺尾公民館は教育委員会の出先機関であるが、地域の課題等を建議・具申するための行政組織の出先機関にして、住民及び地域の要望等を受け付ける組織とされたい。

・組織機構の見直しは行われているのか。役割分担の中で、もっと機能的に職員が仕事をこなせると感じる。

③財務部

○施設について

・公共施設に設置されたAEDは夜間や休日に使用できないので、配置場所を検討すべき。

・市役所のトイレにウォシュレットを付けてもらいたい。

○その他

・栃木市はもっと国や県の補助金を活用すべきだ。
・太陽光発電設置地域の協力があって税金が市に入る。その一部を地元の活性化、特に教育関係に使っていただきたい。

④生活環境部

○交通安全について

・平柳町の五差路の渋滞緩和をしてほしい。
・ダンプカーの荷台から採石が落ちて車に傷がつくことが頻繁にある。採石会社に指導してもらいたい。
・自転車の登録や保険加入について学校で指導してもらいたい。
・国道50号線から東武日光線沿い東側の静和小通学路に、通学路の表示と歩道の整備をお願いしたい。
・自転車専用レーンを学校近くに増やしてほしい。
・自転車のスマートフォン対策も考えてもらいたい。
・免許証を返納した高齢者に対し、電動自転車購入費用の助成をしてはどうか。
・国府北小学校の南側通学路は信号の押しボタンの関係で左側通行になってしまう場所がある。対策が難しいのであれば、「特別通学路」の表示などを考えてもらいたい。

○防犯について

- ・西方地域の防犯灯の数を増やしてほしい。
- ・商店街で設置した水銀灯があるが、閉店した店舗分の電気料も商店街で負担している。防犯灯と認定して、市で電気料を負担してもらえないか。
- ・防犯カメラの設置補助にあたっては、自治会任せではなく、行政にも協力してもらいたい。

○その他

- ・集会所の草刈りは要望しないとやらないのか。定期的に行ってほしい。
- ・野焼きは禁止されているが、やっている人を見かける。広報で禁止されていることを周知してもらいたい。

⑤保健福祉部

○とちぎメディカルセンターについて

- ・病院内の案内表示が分かりづらい。
- ・産科を作してほしい。
- ・診察と会計の待ち時間が長い。
- ・北側入口のところに看板を設置してもらいたい。
- ・駐車場を拡張してもらいたい。
- ・待合室にテレビを設置してほしい。また、駐車料金が高いのではないか。

○その他

- ・障がい者と健常者が触れ合える場所を作してほしい。また、障がい者に関する教育に力を入れてほしい。
- ・障がい者相談室が本庁になっているので不便である。南部地域に置けないか。

⑥こども未来部

- ・学童保育にスポットのおやつ代を設定してほしい。
- ・いまいずみ保育園の建て替えをお願いしたい。また周辺の土地を買収し、園庭も広げてもらいたい。

⑦産業振興部

○農業について

- ・農業は農地集積が加速し、大規模営農化の方向となっているが、西方地域には受け皿となる大きな団体がない。受け皿となる団体の育成や他の地域の大規模団体と横断的な交流を要望する。

・わたらせふれあい農園は利用者が少ない。別の方法で利用者を募集してみてもどうか。

・台風の影響で土砂が溜まり、大平地域の永野川の水門が使用できなくなったので、対応をお願いしたい。

○獣害対策について

・真名子地区には空き家が増えている。空き家にはハクビシンやタヌキも住み着いている。対策をお願いしたい。

・鹿の被害が爆発的に増えている。駆除費用の補助をお願いしたい。

○企業誘致について

・産業団地だけでなく、ベンチャー企業を誘致すれば若い人も集まると思う。

・千塚産業団地には雇用を生み出し、市の税収もアップするような企業を受け入れてほしい。

○その他

・ディスティネーションキャンペーンのパンフレットには蔵の街だけ載っている。他の地域の情報も載せてもらいたい。

・仕事をリタイアした人が市民のためにボランティアで技術を発揮できる場所を作してほしい。

・買い物弱者への支援策として静和駅前の農協の建物を利活用してもらいたい。

・大平農村婦人の家の雨漏りがひどいので何とかしてもらいたい。

・プラッツおおひらにコンビニを入れてほしい。

・農振地域では過疎化、少子化で悩んでいる。家が建てられるようにしてほしい。

⑧建設水道部

○道路整備について

・国府地区の道路の状況は非常に悪いので整備してもらいたい。

・JAスタンドから東へ入り東陽中へ続く道路が狭くて危険なため整備をお願いしたい。

・大久保公民館の前の市道が波打っている。至急対応してほしい。

・鯉沼商店の裏の市道がデコボコである。(大久保町)

・東陽中学校の通学路で道幅が2メートルしかない場所があり、危険である。(JAスタンドから東へ続く道) 10年以上前から拡幅の要望をしているので、早急に対応してもらいたい。

・北武井の農道に歩道用の柵を設置してほしい。学校からも要望しているが、一部設置していない箇所がある。

・真上地区の個人所有の山にある林道の整備をお願いしたい。災害も心配である。

・要望を出した道路整備について実施する順番を公開してもらいたい。

・県道小山・都賀線の柳原付近の拡張で縁石が邪魔になっているので危険である。対策をお願いしたい。

・岩舟地域の水掛から曲ヶ島までの市道の補修と拡幅工事を希望する。

○その他

・尻内西集会所の横の川に汚泥が堆積している。国道293号線までさらってほしい。

・大橋の信号機の西側が大雨になると川の水が溢れ、田んぼに砂利が入ってしまうので、対策をお願いしたい。

・永野川の草刈りを地元で行っている。法面も県でやってもらいたい。

・西方ふれあいパークのひょうたん池の除草を地域会議の実働組織で実施しようとしたが、草の量も多く、堆積した汚泥のため難しい。業者に依頼しないと実施できないので、予算化をお願いしたい。

・下水道が近くまできているが上水道が入っていないのでつなげられない。何とかしてほしい。(樋ノ口南自治会)

⑨都市整備部

・新大平下駅周辺に有料パーキングを作してほしい。

・藤岡駅前の活性化を進めてほしい。地権者からの理解がもらえないようなら議員からも協力を働きかけてほしい。

・太陽光発電施設について火災発生時等に管理者へ連絡するための標識の設置及び消防団員等の感電を防止するためのシートを常備するよう条例に加えていただきたい。

・空き家対策について市から自治会へ協力の依頼があったが、もっと詳しく内容を説明してもらいたい。

⑩教育部

○学校施設について

・小学校トイレの水洗レバーをセンサーや自動式にしてもらいたい。力のない低学年の子は流せない。暗いので明るい雰囲気にしてもらいたい。

・小中学校のトイレにはウォシュレット・暖房便座をつけてほしい。

・小中学校のトイレ洋式化を進めているが、体力維持の面から考えれば和式も必要ではないか。

・寺尾中のトイレが汚い。早急に直してほしい。

・都賀中学校の体育館と武道館の間の道を整備してほしい。また、暗いので外灯を付けてほしい。

・エアコン設置については、普通教室だけでなく、特別教室にも設置するべきである。

○その他

・国府南小学校は小規模特認校になっているが、評価によっては制度をやめる動きになっているように思われる。制度の周知が十分とは思えないので、続けていただきたい。

・スクールガードのボランティアの拡充をお願いしたい。

・地域の見守りボランティアについて多少でもお礼を用意し、人員の拡大をしてもらいたい。

・小中学校の周辺に防犯カメラを設置してもらいたい。

⑪生涯学習部

・栃木文化会館、栃木総合運動公園には洋式トイレが少ない。また、栃木文化会館は階段が多い。

・大宮運動広場の補助金の増額、隣接地の駐車場の拡張をお願いしたい。

・下野国庁跡は歴史的価値も高く、貴重なものである。地元も協力するので、国や県へ働きかけて復元をお願いしたい。

⑫選挙管理委員会

・栃木市の総選挙での区割は2・4・5区である。合併して組織統合を図るため、さらに国・県・市との施策の一貫性を考えると1選挙区にする必要がある。

・榎本地区の投票所が減り、大変不便になった。期日前投票の期間に合わせて、移動型投票バスなどを考えても良いのでは。

・衆議院選挙の時、イオンの期日前投票所に行ったら2区の投票はできなかった。もっと周知が必要なのではないか。また、すべての地区の期日前投票ができるようにしてほしい。

⑬消防本部

・消防団の統合により消防機械器具置場が解体の予定と聞いたが、出流地区の防災組織の防災拠点として残してほしい。

・消防団のPRのためにも「消防団だより」を発行してほしい。

・消防団の通常点検は素晴らしいものなので、もっとPRして子ども達に見てもらいたい。

・廃車となった消防車を公園や市有地に遊具として活用してはどうか。

5. 常任委員会意見交換会における意見等

(1) 総務常任委員会 11月13日(月)(國學院大學栃木短期大学)

相手：國學院大學栃木短期大学生

◇議会からの報告

- ・栃木市議会について
- ・栃木市のまちづくりにいて

◇テーマ「本市のまちづくりに期待することについて」

- ・栃木駅から学校に通うまでの道路、特に歩道の部分がデコボコして非常に危険である。
- ・雨水の排水が悪いせいか、雨が降ると直ぐに水たまりができてしまう。車とすれ違う際に跳ね返りがあり服が濡れてしまっているので何とか解消いただきたい。
- ・栃木市に初めて来たときに街が廃れている印象を受けた。中心市街地に大型商業施設ができれば、若者が集い活気あふれる街になるのではないかな。
- ・時間が遅くなると栃木駅構内や喫煙所付近で人がたむろしてる姿を見かけることがある。すごく怖く感じるし、治安が悪いようにも見えてしまう。もっと警察などによる巡回指導を増やすなどの取り組みが必要ではないかな。
- ・スターバックスがオープンし学生の間でも話題となった。しかし、栃木駅から遠いと感じる。駅の近くに魅力ある店舗ができるとありがたい。友人にプレゼントを買うお店が栃木市にはないため、佐野市や小山市に行って購入している。
- ・Wi-Fi環境が整った誰でも利用できるオープンスペースを整備してほしい。
- ・市内にはおいしいお店や魅力的なお店がたくさんあるが場所が分かりづらい。チラシや案内看板などを作成しもっとPRした方がよいと思う。
- ・栃木市には個人経営のお店が多く人柄もとても良いので何回も通いたくなる。
- ・深夜に学校付近の坂をバイクが走るため騒音がひどい。
- ・栃木市の豊かな自然を残してほしい。
- ・電車を待っている間に時間を潰せる場所がないので、駅前にカフェなどを作って欲しい。
- ・栃木市の個性を活かした独自のまちづくりを望む。
- ・学校に向かう道路の歩道が狭く車と接触しそうで危険である。また、学校帰りの道路は暗いため防犯灯を増やしてほしい。
- ・マクドナルドの交差点にある歩道橋には自転車を押して渡る通路がある。しかし通路幅が狭いため大変危険であり利用しづらい。
- ・栃木大通りにあるファミリーマートの西側に横断歩道を設置してほしい。また、錦着山入口のバイパスにある交差点西側にも横断歩道を設置してほしい。

- ・栃木駅前広場で行われたオクトーバーフェストは大変盛り上がっていた。駅前ですることによりイベントに参加する予定のなかった人も巻き込めると思う。
- ・栃木駅構内に洋服を取り扱うお店ができて欲しい。
- ・小学生と大学生が連携しておいしいお店を探す取り組みも面白いと思う。

(2) 民生常任委員会 11月1日(水) (栃木市役所 全員協議会室)

相手：介護事業者、相談支援包括化推進員

◇テーマ「地域包括ケアシステムの現状について」

○地域のつながりについて

- ・地域のつながりが弱く、問題を隠していたが、どうにもならなくなり相談するという傾向が多い。地域包括支援センターの職員も簡単には問題に立ち入れない。もっと市民と一緒にやって取り組めるようにならないと、本当の意味での包括支援体制は取れない。

○情報について

- ・受け入れる側の体制は出来ているが、どうやって情報を吸い上げるかが問題である。災害時に助けるべき人の情報を自治会も民生委員も持っているが、情報の出所が違うのでお互いに見せあわない。
- ・栃木市は高齢化が進んでいる。自治会長や民生委員が1年で交代になる地区もあり、情報が伝わっていかない。社協が地域懇談会をやっても1年に1回では繋がっていかない。

○介護受入体制について

- ・栃木市は、他の地域に比べて進んでいると思う。栃木市は優れているということをもっと伝えた方が良い。

○介護人材の不足について

- ・人材不足にも2つある。担い手の不足とそれをまとめる班長的な役割をする人材の不足である。リーダーの育成が課題となっている。
- ・施設を開所する予定で、入所希望者はいるが、人材確保はこれからである。働き手を募集しても集まらない。

○その他

- ・介護の暗いイメージを払拭し、若い世代が憧れるような職業にしたい。
- ・高校生や専門学校生への教育に力を入れた方が良いと思う。
- ・介護の報酬そのものが医療に比べると低い。処遇も違う。

(3) 産業教育常任委員会 11月2日(木)(栃木市役所 全員協議会室)

相手：農業ビジョン策定委員

◇テーマ「これからの本市における農業振興について」

- ・本市は農地に適しているがゆえに、受け入れ態勢に力不足な部分を感じる。
- ・ブドウでグローバルギャップを使っているが、経費が掛かる。行政からの補助があればありがたい。
- ・グローバルギャップを取得しようとしているが、新聞報道などで助成金はJAに支払われると聞いた。個人でも取得できるよう支援してほしい。
- ・各種団体・行政の方向性がバラバラ。仲良くやればと思う。
- ・新規就農者には情報が少ない。金銭的なものだけではない支援が必要だ。
- ・国や県や市、農協など、同じ書類を何度も書かなければならないのはどうにかならないかと感じている。
- ・市の職員が間に入ると、農協などの信頼も得やすくなる。
- ・栃木県および栃木市の知名度がまだまだ低い。
- ・国は予算をつける。県は農地中間管理機構を設けた。市も何か施策を考えていただきたい。
- ・成功体験を地域で共有していくことが大切。
- ・ワンストップ窓口で、空いているハウスを提供できるようにしていれば新規参入がしやすいのではと思う。
- ・県内に施設園芸特区を設けてはどうかと国には提案しているので、市のバックアップをお願いしたい。
- ・土地利用型だけの公社ではなく、お金も扱える、行政に出来ないことを扱える、多面的な公社になっていただきたいと思う。
- ・直売所や物産館など、分散しているものを集約する必要があると思う。
- ・中からではなく、国や県など、外から予算を取ってきてほしい。事務方(農政係)には頑張っていたきたい。
- ・佐野藤岡ICから蔵の街へと観光と農業のマッチングをやっていければ。損して得取れの精神で。
- ・鳥取の智頭町では百人委員会という組織があって、いろんな業種の人が交流しており、移住者の増加にも寄与している。そこの真似をするわけではないが、まちづくりの参考にしていきたい。

(4) 建設常任委員会 10月24日(火)(栃木市役所 全員協議会室)

相手：栃木市建設業協同組合

◇テーマ「建設業関連事業の現状と課題について」

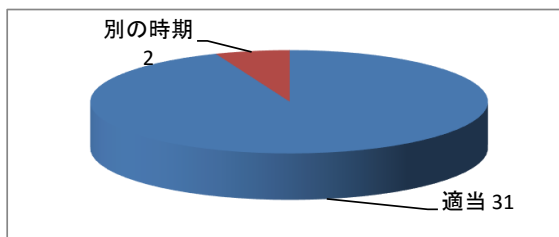
- 担い手不足について
 - ・団塊世代の退職等により人材不足が顕著である。
- 組合加入業者への配慮について
 - ・協同組合としては災害協定等により市へ貢献しているので、指名の優先など優遇措置を検討してもらいたい。
- 見積依頼と入札資格の整合性について
 - ・予算編成時に参考見積書を提出しても、入札時には参加できない、または指名から抜けているということがある。見積依頼は入札時を見据えて常識的な振り分けをしてほしい。
- 地元業者の育成について
 - ・地元業者の育成や雇用確保という視点からも優先的に地元業者を使っていただきたい。使った場合には点数の加算をするという項目を設ければ育成に繋がる。
- 各地域の受注について
 - ・各地域の受注に関して、平均的に仕事を割り振ってもらいたい。仕事の按分の仕方を検討してもらいたい。栃木の工事に都賀の業者を入れるなど平等にってもらいたい。指名するにあたっては地域の混合を。
- 指名競争入札の基準について
 - ・指名競争入札にする基準は500万円にするべきである。
- 落札後の対応（設計変更等）について
 - ・交通誘導員について、安全確保のために設計積算よりも増員して配置する場合があるので、その際は設計変更の対応をしてほしい。
 - ・工事が中断することの無いよう、行政内で発注のタイミング調整を。また、中止期間中にも発生している保安施設等のリース料を負担していただきたい。現場代理人に係る費用も同様である。
 - ・コンサルタントの設計について、業者から誤りの指摘があった場合には、現地で立会って測量するなど、柔軟な対応と設計変更をお願いしたい。
- 残土処理について
 - ・業者裁量で残土処理をする場合は、超過分の運搬費や処分費について市の負担を求める。
- 道路整備について
 - ・消防車が入れない道路などの拡幅をしていただきたい。

6. アンケート結果

(1) 議員アンケート

1) 開催時期について

1	適当	31	94%
2	別の時期	2	6%
	計	33	100%

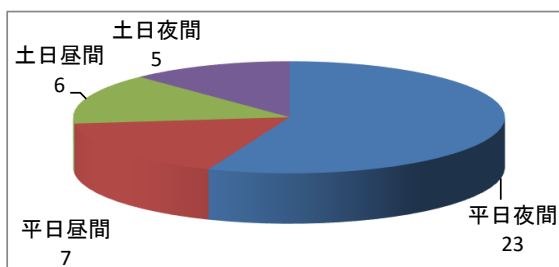


「2. 別の時期」の意見

- ・複数回に分けて様々な時期に開催しても良いのでは。
- ・ふれあいトークの直前がいいのでは。日が長い時期で予算等の内容を伝えやすいと思います。また、次年度への予算化も可能となる。現在の時期では、次年度の予算化が難しいと思われます。

2) 開催曜日・時間帯について

1	平日夜間	23	56%
2	平日昼間	7	17%
3	土日昼間	6	15%
4	土日夜間	5	12%
	計	41	100%



「1. 平日夜間」の意見

- ・平日の昼間や土日に開催しても、来ない人は来ない。

「2. 平日昼間」の意見

- ・市民スペースの参加者から好評だった。(午後2時開始)
- ・中高年向けに平日昼間に。
- ・女性の意見を聞くには、昼間の時間帯も必要だと思う。

「3. 土日昼間」の意見

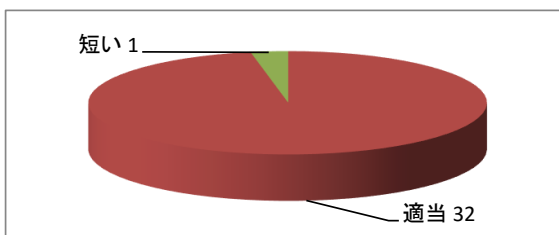
- ・働いている人が参加しやすいように。
- ・参加者から土日昼間でという意見もあった。
- ・若い方が参加しやすい時間も必要。
- ・夜は危険である。高齢者には昼間の方が出やすい。
- ・現行の平日夜間の開催については、数年間の実績があり、若年世代や子育て世代などターゲットを他に絞った試みも一考すべき。

「4. 土日夜間」の意見

- ・働き盛りの皆さんのためには、土日の夜間に開催しても良いと思う。

3) 会議時間(90分間)について

1	長い	0	0%
2	適当	32	97%
3	短い	1	3%
	計	33	100%

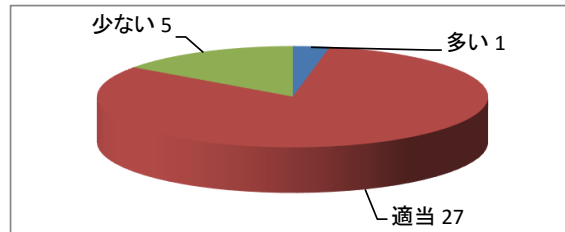


「3. 短い」の意見

- ・枠は120分とし、早く終わることもありにすれば。

4) 開催会場数について

1	多い	1	3%
2	適当	27	82%
3	少ない	5	15%
	計	33	100%

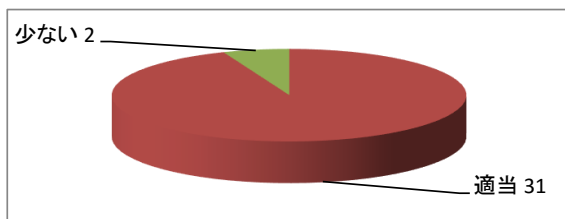


「3. 少ない」の意見

- ・3回くらい参加しても良い。
- ・春と秋の2回開催すれば良いのでは。
- ・もっと多くした方が市民も参加しやすくなる。

5) 議員の出席回数について

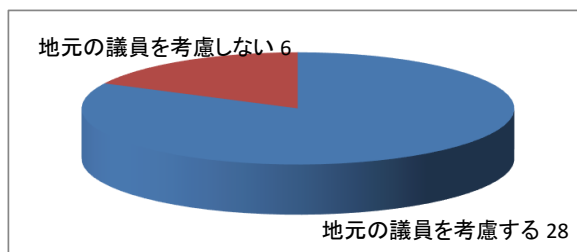
1	多い	0	0%
2	適当	31	94%
3	少ない	2	6%
	計	33	100%



6) 班編成について

(1) 割振地域について

1	地元の議員を考慮する	28	82%
2	地元の議員を考慮しない	6	18%
	計	34	100%



「1. 考慮する」の意見

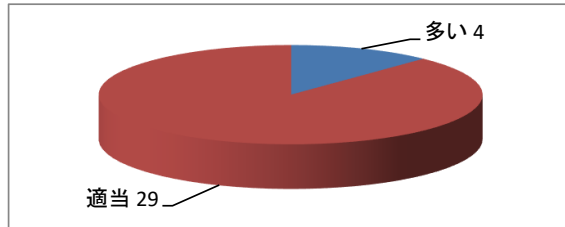
- ・フリートークの時に要望された場所の特定に時間がかかると思うので。
- ・地区や場所を言われても分からないから。
- ・地元の議員がいないと住民を組織しづらい。
- ・地元の議員がいてくれると参加者は安心して話ができるような感じがします。
- ・現状の人数割で良い。
- ・元議員経験者や自治会役員経験者から議員の資質向上の観点から、地元議員を考慮しないという意見もいただいているが、現状の混成メンバーで良いと感じる。

「2. 考慮しない」の意見

- ・年2回以上開催すれば両方考慮できると思う。
- ・地元の議員は班で2名程度いれば良い。全員が栃木市議会議員である。
- ・地元の議員が多すぎると報告会も新鮮味がなくなり、市民の参加率も悪くなるのではないかと。
- ・考慮してもしきれないと思うので、考慮する・しないの中間(シャッフル)が良いと思います。今年、別の地域に参加してみて、参加者を少しでも集めなければという意識が薄くなってしまったというデメリットはありましたが。
- ・広く意見を聞けるほうが良いのでは。
- ・いつまでも地元議員の考慮は必要なし。(一体感)

(2) 班の人数について

1	多い	4	12%
2	適当	29	88%
3	少ない	0	0%
	計	33	100%



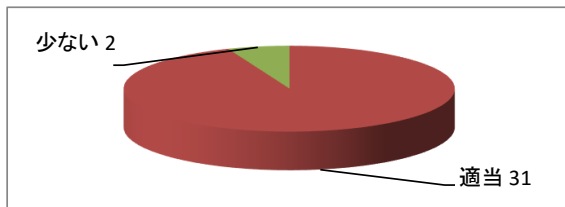
「1. 多い」の意見

- ・1班5人くらいが適当と思います。8～9人は多すぎます。役割の濃淡が出てしまい、楽なところを選べる感じがありますので。
- ・一人一役になっていない。人数の変更が難しい場合、役割分担の内容を検討し、一人一役とするべき。

7 報告事項について

(1) 報告事項の件数について

1	多い	0	0%
2	適当	31	94%
3	少ない	2	6%
	計	33	100%



「2. 適当」の意見

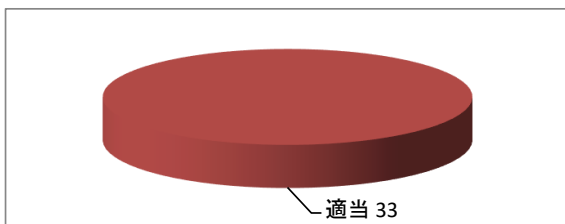
- ・報告したいことは他にもあるが、内容や項目数は今回がベストのように感じました。
- ・2件までが妥当と思う。専門性が高いと市民の関心が薄いと感じる。

「3. 少ない」の意見

- ・参加者は多くの情報を知りたがっているのではないか。
- ・3つ位あっても良い。

(2) 説明時間(1項目あたり5分)について

1	長い	0	0%
2	適当	33	100%
3	短い	0	0%
	計	33	100%

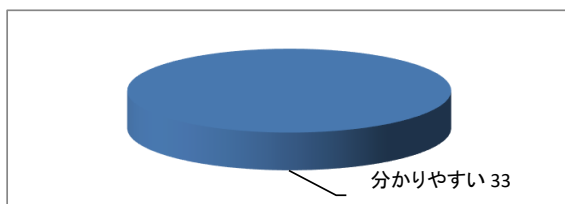


「2. 適当」の意見

- ・報告事項の内容によって長さは変わるのではないか。今回は適当だったと思う。
- ・資料とスクリーンでの説明もあり、約5分間が妥当である。

(3) スクリーンを使用した説明について

1	分かりやすい	33	100%
2	分かりにくい	0	0%
3	どちらとも言えない	0	0%
	計	33	100%



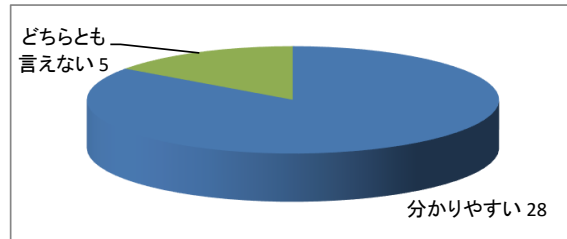
「1. 分かりやすい」の意見

- ・市民の方も真剣に見てくれていると感じました。
- ・参加者からも「分かりやすかった」との感想が寄せられた。
- ・スクリーンに使用は良いと思います。

8 資料について

(1) 内容について

1	分かりやすい	28	85%
2	分かりにくい	0	0%
3	どちらとも言えない	5	15%
	計	33	100%



「1. 分かりやすい」の意見

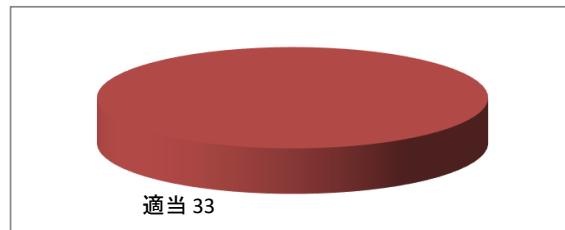
- ・読み方もゆっくりで分かりやすかった。
- ・議員個人としては分かりやすいと思うが、参加者からの意見を聴取すべきと思う。

「3. どちらとも言えない」の意見

- ・パワーポイントのコピーだけでは説明不足の感もある。説明文を付け加えたらどうか。
- ・理解しやすく分かりやすいものが求められる。

(2) 量について

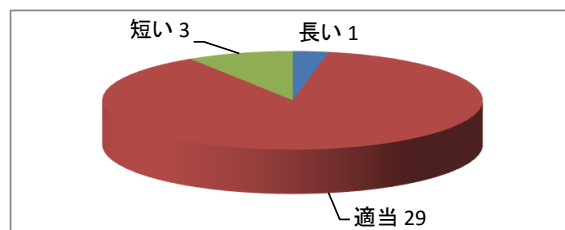
1	多い	0	0%
2	適当	33	100%
3	少ない	0	0%
	計	33	100%



9 フリートークについて

(1) 実施時間について

1	長い	1	3%
2	適当	29	88%
3	短い	3	9%
	計	33	100%



「2. 適当」の意見

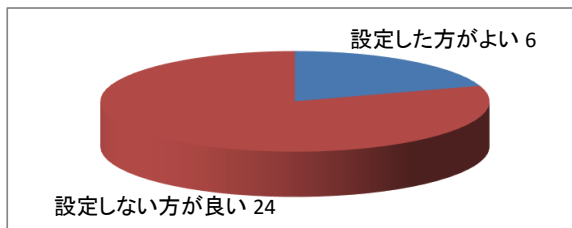
- ・もう少し長くても良いかと思うが、概ね良かったと思います。前段の報告への質疑が多いと、フリートークは時間不足の感あり。
- ・まとめの説明が長い。
- ・この時間を増やすことが望まれると思うが、全体のバランスを考えると適当である。

「3. 短い」の意見

- ・全体を120分間にすれば十分な時間が取れる
- ・もう少し長くても良い。

(2) テーマについて

1	設定した方がよい	6	20%
2	設定しない方がよい	24	80%
	計	30	100%



「1. 設定した方がよい」の意見

- ・設定した方がある程度までの区切りができる。
- ・何か話題があれば設定しても良いと思う。例えば、議員定数の見直しなど。
- ・実現不可能な要望や意見など一部の人の意見発表の場となっている面もある。緩やかであるが、テーマを設定しても良いと思う。
- ・時間との関連もあるが、参加者の方々の意見の大半が議会というより行政への質問や要望が多いと感じる。議会として望む意見や要望のテーマ設定をすべきと考える。

「2. 設定しない方がよい」の意見

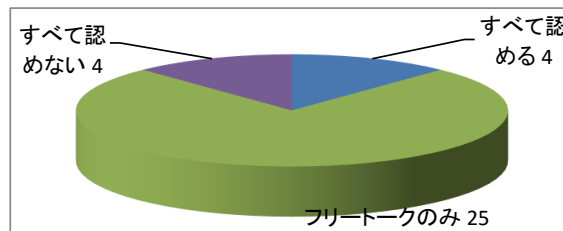
- ・市民の方が自由に要望や意見を言うことができます。
- ・参加者は日頃感じている意見を発言したいと思う。
- ・自由な意見が出ているので勉強になった。
- ・フリートークである以上設定しないで良い。
- ・自由な意見を出せるように設定しない方がよい。

「その他」

- ・テーマを設定するものとフリートークの2本立てにする。
- ・時間の一部を市にとって重要な案件について意見を聞く会としたい。
- ・重要な案件がある場合に設定しても良いのでは。

10 議員個人の意見を述べることについて

1	すべて認める	4	12%
2	報告の質疑のみ	0	0%
3	フリートークのみ	25	76%
4	すべて認めない	4	12%
	計	33	100%



「1. すべて認める」の意見

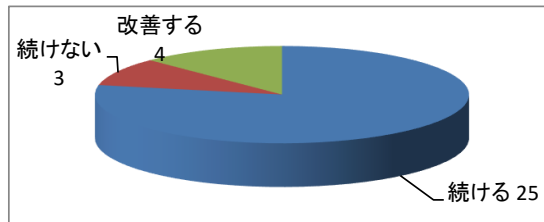
- ・基本的には全体で述べられる方がよいと思う。

「3. フリートークのみ」の意見

- ・先日の議員研修会の講師も、議員個人の意見を述べることはあっても良いと言っていたので、一部認めても良いのではと考えます。その一部をどこまで認めるかですが、フリートークが良いのではと思います。
- ・あくまでも「議会報告会」であるので、個人意見にはある程度の縛りを付ける必要がある。(議会全体のレベルアップのため)

11 常任委員会版報告会(意見交換会)について

1	続ける	25	78%
2	続けない	3	9%
3	改善する	4	13%
	計	32	100%



「1. 続ける」の意見

- ・報告会というよりは、意見交換会という意味合いが強いが、市民や団体の意見を聞くという事は良いことだと思う。
- ・各委員会として、積極的に政策提言につなげられるテーマを熟考してから意見交換を実施すべである。テーマ決定までの議論が不足しているように感じる。
- ・昨年からはじめ、まだどのようなやり方がいいのか考えながらやっているの、続けた方が良いと思う。
- ・ぜひ継続してほしい。

「2. 続けない」の意見

- ・議会報告会の中に組み込まないで、常任委員会独自で考えた方が良い。

「3. 改善する」の意見

- ・毎年同じでは意味がない。
- ・陳情会では好ましくない。
- ・相手が議会側や行政側から依頼した方のみとなる。

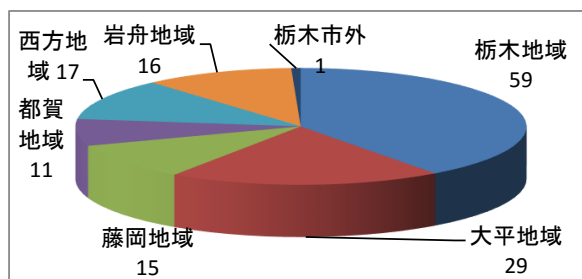
12 その他(全体的に気付いたこと)

- ・フリートークの記録が間に合わない。
- ・報告会が要望、要求の場になっていないか。
- ・議会の役目は決定権です。そのために説明責任は議会にあります。そのことを議員間で十分認識すべきである。
- ・休憩時間は特に持たなくていいと思いました。フリートークの準備をしている時にトイレ休憩も可能であり、市民の方から時間がもたないとの声がありました。
- ・報告会の資料作りは班長と事務局で作成した。全体で考えた方がいいと思う。
- ・報告会も回を重ね、毎年議員アンケートをもとに運営委員会で改善を重ねてきたことにより、かなり良い形に収斂されていると考える。
- ・それぞれの議員が場慣れしたので、少数編成で望めると思う。会場数を増やしたい。
- ・報告会が行政にどう活かされていくかということを説明し、根気強く続ける。例えば、地元の道路の要望等ばかりでなく、建設的な意見や提言が出てくるようになった気がする。
- ・参加者の色々な意見が聞けた。
- ・報告会で出された意見に議会がどれだけ早く反応して対処するかが、今後の重要な課題だと思う。報告会終了の数日以内に、出された課題(現場)を実際に見に行くことが必要であると考えます。
- ・まとめの報告書は、参加された皆様方に届けるべきではないかと思えます。
- ・報告事項はよくまとめ、フリートークも含めた終了時間もちょうど良いと思いました。
- ・フリートーク後のまとめの説明は短く、明解にすること。
- ・クレーマー的存在の人の意見、自己主張に時間をかけすぎる。あらかじめ質問時間や回数を定めて実施すべきと考える。一人でも多くの方の意見を限られた時間において聞くことができるように、開催側の議会が配慮すべきである。報告会においても公平公正を保つべきである。一部・二部においても同様である。
- ・現在の出席者数を考えると、住民に最も近い自治会公民館での開催も考慮すべきではないかと思う。
- ・数年前まで大平地区では女性団体連絡協議会と議員との懇談会を開催しており、女団連や地域会議と連携した報告会を実施することを検討しても良いのでは。
- ・報告会については、他の自治体を見ても参加人数に苦慮していることが伺える。本市議会についても参加者の多くがリピーターの方である。多種多様な市民を対象とするため、多様性を考慮したテーマを選定し、マンネリ化を防止してはどうかと思う。

(2) 市民アンケート

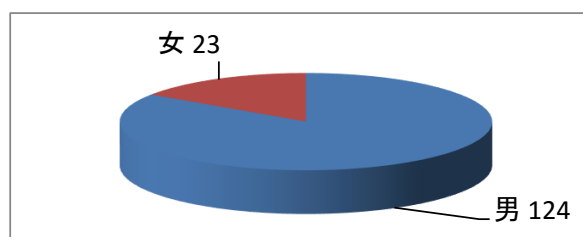
1) あなたのお住まいは？

1	栃木地域	59	39.9%
2	大平地域	29	19.6%
3	藤岡地域	15	10.1%
4	都賀地域	11	7.4%
5	西方地域	17	11.5%
6	岩舟地域	16	10.8%
7	栃木市外	1	0.7%
	計	148	100.0%



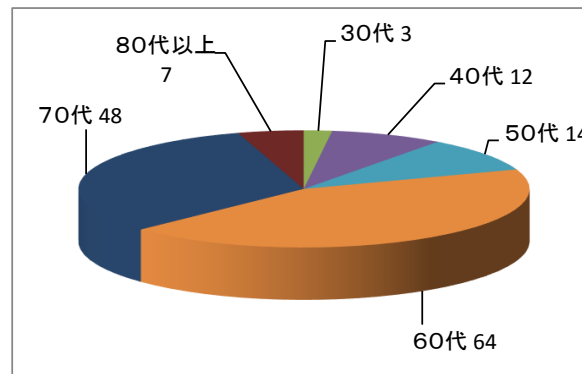
2) あなたの性別は？

1	男	124	84.4%
2	女	23	15.6%
	計	147	100.0%



3) あなたの年齢は？

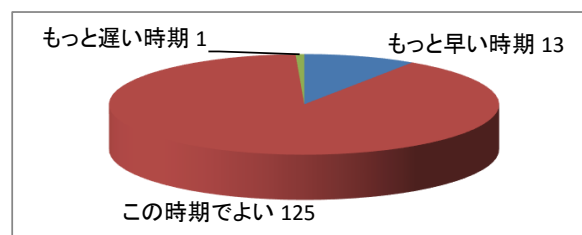
1	10代	0	0.0%
2	20代	0	0.0%
3	30代	3	2.0%
4	40代	12	8.1%
5	50代	14	9.5%
6	60代	64	43.2%
7	70代	48	32.4%
8	80代以上	7	4.7%
計	計	148	100.0%



4) 議会報告会について

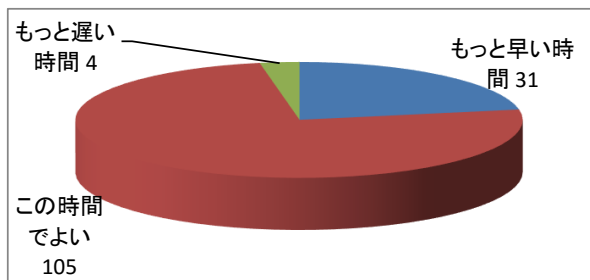
(1) 開催時期は？

1	もっと早い時期	13	9.4%
2	この時期でよい	125	89.9%
3	もっと遅い時期	1	0.7%
	計	139	100.0%



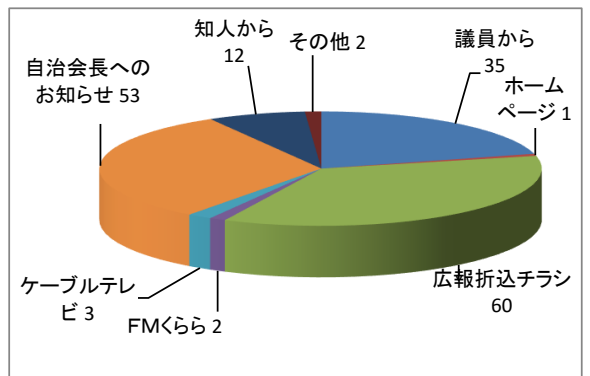
(2)開催時間は？

1	もっと早い時間	31	22.1%
2	この時間でよい	105	75.0%
3	もっと遅い時間	4	2.9%
4	その他	0	0.0%
	計	140	100.0%



(3)開催の情報は？

1	議員から	35	20.8%
2	ホームページ	1	0.6%
3	広報折込チラシ	60	35.7%
4	FMくらら	2	1.2%
5	ケーブルテレビ	3	1.8%
6	自治会長へのお知らせ	53	31.5%
7	知人から	12	7.1%
8	その他	2	1.2%
	計	168	100.0%



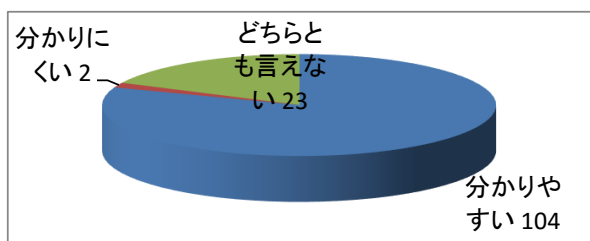
その他

・栃木文化会館内の表示

5) 議会報告について

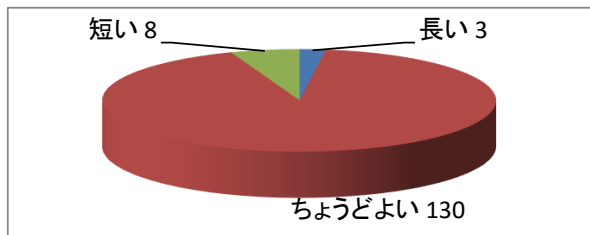
(1) 説明の内容は？

1	分かりやすい	104	80.6%
2	分かりにくい	2	1.6%
3	どちらとも言えない	23	17.8%
	計	129	100.0%



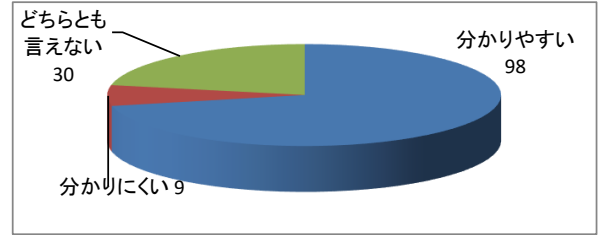
(2) 説明時間は？

1	長い	3	2.1%
2	ちょうどよい	130	92.2%
3	短い	8	5.7%
	計	141	100.0%



(3) 資料の内容は？

1	分かりやすい	98	71.5%
2	分かりにくい	9	6.6%
3	どちらとも言えない	30	21.9%
	計	137	100.0%



(4) 今回の報告以外でどんな報告が必要だと思いますか？

○議会関係

・請願陳情の内容、政策研究会で他にどんなことを検討しているか、前回出た意見に対するフォローについて

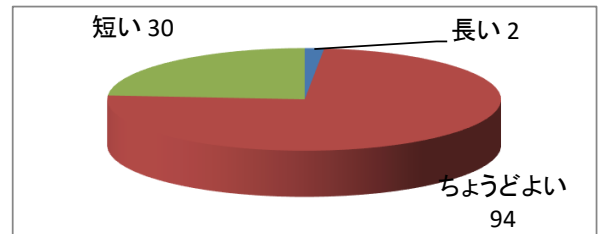
○執行部関係

・地域支え合い活動推進条例の進捗状況、避難所と有事の際の自治会のやるべきこと、獣害対策について

6) フリートークについて

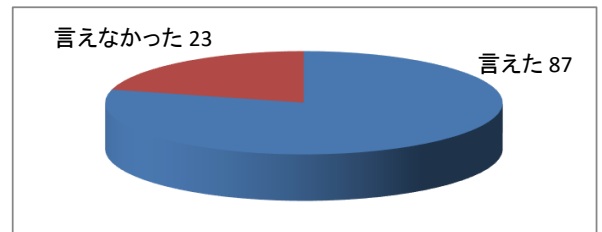
(1) 時間の長さは？

1	長い	2	1.6%
2	ちょうどよい	94	74.6%
3	短い	30	23.8%
	計	126	100.0%



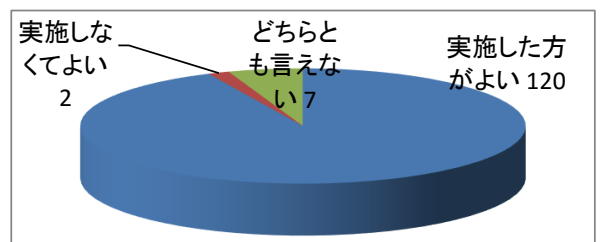
(2) 自分の意見を言えましたか？

1	言えた	87	79.1%
2	言えなかった	23	20.9%
	計	110	100.0%



(3) 今後もフリートークを実施したほうがいいか？

1	実施した方がよい	120	93.0%
2	実施しなくてよい	2	1.6%
3	どちらとも言えない	7	5.4%
	計	129	100.0%



7) 市議会や報告会に対する意見

①議会報告会について

- ・小中学校適正配置基本方針について、議員の方にわかりやすく説明いただき、良くわかりました。
- ・フリートーク終了後の議員のまとめの説明が良かった。
- ・報告会での要望、意見を特に検討して頂きたい。
- ・報告会のことについては回覧で知りましたが、開催チラシに意見のある人は考えてくるようにと書いてあると準備が出来ると思います。
- ・スクリーンを使った説明でわかりやすかった。初めて参加したが、気軽に話し合えたのが良かった。次回も参加したい。
- ・栃木市議会の傍聴を20年余年続けています。市民にとってとても有難く思っています。この結果は市の広報に載せて、来場できなかった他の方々にもお伝え願いたいですね。
- ・各団体の長に参加を依頼したらどうでしょう。
- ・せっかく今回の報告会が真名子・西方両地区で一か所になっているのに、20数人しか集まらない。地元議員さんがパンフレットを持って各地区をまわってくれた。人を集める工夫を何か考えてもいいのでは。
- ・市議会議員という職業は市民の代表者でもあり、市民1人1人の声を代弁する事はもちろんですが、行政側にしっかり意見を伝えて戦うつもりで臨んでほしいと思います。その報告会として、できれば定例議会の後に開催してほしいと思います。確かにfacebook、Twitterなどは便利な方法ですが、議員も市民も人ですから、お互い顔が見える表情がわかる事が絆を深める一番良い方法だと思います。場所については、もう少し狭い自治会の小さな公民館でも開いて欲しいと思います。これから改選という事で、お忙しくなっていますが、お身体に気をつけてご活躍下さい。本日はありがとうございました。
- ・今回初めて参加させていただきましたが、皆様の様々なご意見を聞くことができ、大変勉強になりました。
- ・地元の議員が3名いて、とても有意義でした。
- ・フリートークが1グループ10人でしたが、少人数でグループ数を増やして欲しい。
- ・議会報告会の議事録を自治会長に一部配布して欲しい。
- ・自治会の三役も出席すると良いと思います。
- ・フリートークだけの開催も可。
- ・フリートークで1人の話す時間を決めてほしい。(1人何分とか)
- ・公表出来ないような意見が出た。
- ・フリートークで出たものは、次回に短時間でもその後の報告をしたらどうか。(同じ場所の場合)
- ・市長と議会との同時開催とすれば、もっと人数が集まるのではないか。
- ・議員のみなさんの対応がやさしくて良かったです。
- ・年に2回位に出来れば良いと思う。
- ・ふれあいトークと同じように報告会を東・南・西地区に分けてやって頂きたい。
- ・議員の人数は少なくても良い。本日出席議員の3分の2の人数で良い。
- ・これからも報告会は実施頂きたい。
- ・フリートークの時間をもう少し長くしてもらいたい。

②議会や議員について

- ・市議の皆様、大変御苦労様です。
- ・地権者の問題で計画が進んでいない事例が多い。地元の人と一緒に説得してくれる様、議員さんに頑張ってもらいたい。
- ・議会中の議員の表情が見えない。
- ・議員定数は、栃木(12)岩舟(2)大平(3)西方(1)都賀(2)藤岡(2)の20名ぐらいでよいのでは、実際はフリーですが。
- ・議会改革への取組への努力に感謝いたします。
- ・これからも改革頑張って下さい。
- ・市議会議員の方についてはもっと市全体への活動の拡大を望む。地元市議についてはわかりますが、他議員の活動がわからない現状である。
- ・出席議員さんの中には知識が少なく応答ができない方がいらっしゃいましたが、もう少ししっかりと対応をお願いします。

③意見・要望

- ・議会報告会資料の「提言2 通学路の安全対策の強化」
元県道(旧栃木藤岡)公道の中で抜け道と思われる狭い道路のスピード制限について「スピード」減速の要望です。指定道路になっている地区ですが、20~25km位の一定速度指定は難しいのでしょうか。進入禁止のためか運転する人のモラルがないのか、対向車両がないためか40km以上で突走る大型トラックが見られます。安全上これらを取り締まることも大切だと思います。警察にも相談しましたが、制限スピードの路面標示も受け付けてもらえませんでした。事故の起こる前にスクールゾーンの改善をして頂けるような質問もお願いしたいです。
- ・ソーラー設置は議会でも十分検討して厳しく指導すべきと思う。景観上も好ましくないと思い、観光地などは禁止すべき。市で条例化すべきと考えます。不要となったパネル処分などもきちんと処分する条例化も必要ははずです。
- ・小学生の通学にふれあいバスを使っている所が有ると聞きましたが、ふれあいバスを利用して通学することを市へ強く話を進めてもらいたいです。
- ・旧制度を復活して下さい。大平総合支所に大平、藤岡、岩舟の障がい者相談室がほしい。
- ・県南に運転免許センターが欲しいです。自転車にも道路交通法が出来たので。
- ・新大平下駅にエレベーターがほしいです。
- ・他の市町村に比べて、活性化していない。岩舟町は、暗い場所が多く、安全に歩けるようにしてほしい。せめてメインの道路だけでもお願いしたい。
- ・小中のトイレ洋式が良いと思うが、温かく電気を入れるか、又はカバーを掛けてもよい。
- ・フリートークでは時間が無くて意見を言えなかったが、栃木市と合併したことで、西方総合支所のサービス低下が目に見える状況である。権力が中央に集中し、総合支所での独自判断ができず、又組織も縦割りであり、用務があっても出掛けても、結論がでるまで時間がかかる。もう少し総合支所独自の権限を与え、組織的にも水平展開が出来る体制として欲しい。
- ・JR大平下駅前には放置自転車が多い。大平町の玄関口としてはずかしいし、安全上も問題。JR大平下駅前、東武新大平下駅前に駐車場がなく不便。有料パーキングの設置を進めてはどうですか。
- ・「クールチョイスとちぎ」に対して、栃木市の活動が見えない。広報で紹介して欲しい。
- ・市内洪水後、栃木市でも一時的に水を溜める池を造る。水域を安定させるためには川底を掘り下げる案が提案されているが、砂利を外へ出して欲しい。整地ならしでは、大雨が降ると1回で川底が埋まってしまう。永野川敷も堤防があふれて心配であった。砂利をならすだけでは解決できない。

7. 平成30年度議会報告会への提言

○開催時期について

・アンケートにおいて現在の時期（10月下旬）が適当であるとの回答が約9割を占めていることから、同時期での開催を基本とするが、ふれあいトークとの日程調整は必要である。

○開催日時について

・平日夜間（午後6時30分開始）の開催を基本とするが、アンケートにおいて昼間の開催を希望する意見もある。また、本年度において平日昼間に開催し、参加者から好評だったことから、昼間の開催についても検討が必要である。

○会場数について

・議員アンケートにおいて現在の会場数（8会場）が適当であるとの意見が多くあることから、地域会議の設置された地域単位での開催を基本とする。

○班編成について

・議員の地域性を考慮することを基本とするが、1班あたりの人数については、役割分担を考慮したうえで適正な人数について検討が必要である。

○報告事項のテーマや内容について

・報告件数は2～3件、説明は1件5分程度とする。

○議会報告の資料および説明について

・市民アンケートにおいて、説明の内容については分かりやすいとの回答が多くあったが、資料については約3割がどちらとも言えないと回答していることから、分かりやすい資料の作成が必要である。

○フリートークについて

・市民アンケートにおいて、時間が短いとの回答も約2割あることから、報告への質疑やまとめの発表などの時間短縮について検討が必要である。

○議員個人の意見について

・議員個人の意見を述べることについては、フリートークのみ認めることとする。

○市民への周知方法について

・広報とちぎへの折り込みや自治会長への案内は引き続き行い、議員自らも参加の呼びかけに努めること。

○常任委員会版報告会について

・平成28年度から実施してきたが、実施方法や内容について検討が必要である。

○その他

- ・資料作成に当たっては、運営委員全員が積極的に取り組むようにすること。
- ・議員定数の削減により、運営委員の定数（14人）について検討が必要である。

参 考 資 料

○議会報告会運営委員会の設置

本市議会では、平成23年3月に制定した、「栃木市議会基本条例」の第8条において、「議会は、年1回以上議会報告会を開催し、市民との意見交換を行うものとする。」と規定し、また、同条例第2条第6項において、「議会は、市民に説明責任を果たすため、市民にとってわかりやすい説明に努めなければならない。」と規定しています。

この議会基本条例による議会の役割を果たすためには、議員が積極的に地域に出向き市民との連携を図りながら説明責任を果たす取り組みが必要であります。

このようなことから、議会報告会を開催するため、議長の諮問機関として「議会報告会運営委員会」を設置するものである。

1. 名 称

議会報告会運営委員会

2. 組 織

議員の居住地ごとに選出した14人の委員で組織する。

委員会に、委員長・副委員長を置く。

任期は、議長の在任期間とする。

3. 会 議

委員会は、委員長が招集し、その座長となる。

委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことはできない。

議長は、委員会に出席し、意見を述べることができる。

会議結果は、適宜議長に報告する。

4. 検討事項

(1) 議会報告会の企画・立案に関すること。

(2) 議会報告会の開催・運営に関すること。

(3) その他

○平成29年度 栃木市議会報告会開催要領

1 開催日時

10月26日(木)、27日(金)、30日(月)、31日(火)の4日間、地域会議が設置された市内8地域で開催し、全日とも午後6時30分開始とする。

なお、10月20日(金)については、栃木市役所1階市民スペースにおいて開催することとし、午後2時開始とする。(別紙1)

2 班編成

議員の地域性を考慮しつつ、各会場に地域外の議員が出席出来るように編成する。1班8人以上の議員で編成し、議員1人当たり2～3回の出席とする。(別紙2)

3 報告会の役割分担

報告会における役割は、班長、副班長、司会、報告者などとし、それぞれの班において協議し、調整する。(受付・マイク係・お茶係は臨機応変に対応し行う)

なお、答弁は、全員で行うものとする。

役割	留意事項
班長	・班を統括し、報告会の運営を行う。
副班長	・班長を補佐し、班長に事故あるときは、班長に代わり報告会の運営を行う。
司会	・参加者からより多くの発言が得られるように配慮することとする。(同じ人が連続して発言することのないよう注意する) ・報告に対する質疑の際の議員個人に対する質問については、個人の意見を報告する場ではないことを理解してもらうように努める。 ・同じような質問が出た場合は、その旨を話して了承してもらう。
報告者	・報告内容をわかりやすく説明する。(参考までに口述例を配布するが、資料に基づき説明しても良い)
記録者	・後日、回答しなくてはならない質疑が出る可能性もあるため、自治会名、氏名、質疑内容、回答内容を記録しておく。(別紙4議会報告会記録簿) ・音声を録音する。
フリートーク進行役	・参加者からより多くの発言が得られ、活発な意見交換となるよう配慮する。
フリートーク記録者	・進行役を補佐し、フリートーク内の発言を記録する。 ・参加者からの発言を整理し、最後のまとめの時間に発表する。 ・音声を録音する。

4 報告会の次第

報告会は、報告の説明10分、質疑応答5分とし、フリートークを60分、まとめとしてグループごとの発表を10分程度行い、1時間30分程度で終了する。

(1) 開会 (司会)

(2) あいさつ (班長)

出席者自己紹介

- (3) 議会報告（10分）（班の報告者）
 - ・議会改革について～これまでの取り組み～
 - ・これまでに議会報告会でいただいた意見について～市への提言～
- (4) 報告に対する質疑（5分）
- (5) フリートーク（60分）
 - 1 グループ10人程度を目安とし、参加人数に応じて臨機応変にグループ分けを行う。（議員は各グループに2～3人ずつ入り、進行役と書記を行い、最後にグループで出た意見を発表する。）
- (6) まとめ（10分）
- (7) 閉会（司会）

5 会場準備

午後5時30分までに各会場に集合し、全班員で会場準備を行う。（午後6時受付開始）（別紙3議会報告会基本レイアウト図）※栃木市役所会場除く

6 資料

報告会での配布資料は共通資料とする。

7 会議結果等

報告会の会議結果等は、報告会終了後、各班の班長がまとめて議会事務局に提出する。（別紙4議会報告会記録簿）

8 常任委員会版報告会

常任委員会ごとにテーマを設定し、そのテーマに合った団体等、場所でフリートーク（意見交換）を行う。

- (1) 開催日時
 - 10月から11月上旬までの期間とし、常任委員会ごとに開催とする。開催時間については、相手方と調整のうえ決定する。
- (2) 会場
 - 各常任委員会にて決定する。
- (3) テーマ
 - 各常任委員会にて決定する。

9 その他

(1) 議員個人の意見

報告に対する質疑の際は、議員個人の意見を述べてはいけませんが、フリートークの際は、議員個人の意見を述べてもよい。

(2) 資料作成班

報 告 内 容	作 成 議 員
議会改革について ～これまでの取り組み～	○白石幹男・青木一男・小久保かおる 永田武志・梅澤米満・中島克訓
これまでに議会報告会でいただいた 意見について ～市への提言～	○針谷正夫・茂呂健市・坂東一敏 氏家晃・広瀬義明・岡賢治

○印 班長

(3) 市民の意見等の取扱いについて

報告会における市民からの意見等については、なるべくその場において解決することとし、後日回答が必要な場合は、別紙4 議会報告会記録簿の質問者への返答（要・不要）に記入することとする

(4) 執行部への提言について

報告会において出た意見のうち、特に参考とすべき事項について提言書として提出する。

議会報告会運営委員会委員名簿

◎関 口 孫一郎
○入 野 登志子
茂 呂 健 市
青 木 一 男
坂 東 一 敏
小久保 かおる
白 石 幹 男
氏 家 晃
針 谷 正 夫
広 瀬 義 明
永 田 武 志
岡 賢 治
梅 澤 米 満
中 島 克 訓

◎ 委員長 ○ 副委員長

○議会報告運営委員会 開催状況

	開催日	議題
1	平成29年 5月15日(月)	・議会報告会について
2	平成29年 6月22日(木)	・議会報告会について
3	平成29年 7月11日(火)	・開催要領(案)について ・議会報告会チラシ(案)について ・今後のスケジュール(案)について
4	平成29年 9月21日(木)	・報告会資料の検討について
5	平成29年12月18日(月)	・議会報告会の検証について ・報告書の作成について ・提言書の作成について
6	平成30年 1月26日(金)	・報告書(案)について ・提言書(案)について

議会改革について ～これまでの取り組み～ (H26～H29)



平成29年度議会報告会資料
栃木市議会

<議会改革検討委員会>

<設置目的>

- ◇2元代表制の一翼を担う議会の機能を高める
- ◇市民に開かれた議会

各議員から提案のあった
事項から、取り組むべき
事項を選定



<主な議会改革の取り組み①>

議会活動の透明度アップ

- ◇常任委員会会議録をホームページで公開(H26.6)
- ◇議案書・議案説明書をホームページで公開(H27.12)
- ◇請願・陳情等提出者の
意見陳述を開始(H27.9)



2

<主な議会改革の取り組み②>

政策研究会の設置

- ◇議会政策研究会を設置し、議会及び議員の政策提言能力の向上を図る(H27.7)

「栃木市自転車の安全な 利用に関する条例」

- 栃木市議会では初となる議員手作りの条例
- 平成29年9月定例会で提案、可決
- 平成30年4月1日施行



3

交通安全市民大会でのPR



4

<主な議会改革の取り組み③> タブレット端末の導入

◇全議員に**タブレット端末**を貸与(H28.5)

- 導入による効果
- ・会議資料のペーパーレス化
 - ・スケジュールの共有
 - ・情報伝達の即時化
- 等々



5

<主な議会改革の取り組み④>

政務活動費の透明化

- ◇**県内初となる**政務活動費の**完全後払い式**導入(H29.4)

政務活動費
月額3万円(年額36
万円)を上限として
交付

- ◇政務活動費の収支報告に係るすべての書類を
ホームページ公開(H30.4)



6

<主な議会改革の取り組み⑤>

議員定数の削減

- ◇議員定数検討委員会を設置し、議員定数につ
いて調査研究

平成30年栃木市議会議員選挙から**定数減**
定数34名 → **30名(▲4名)**



7

<主な議会改革の取り組み⑥>

議会だよりの編集

- ◇広報紙発行特別委員会で編集
- ◇表紙の**全面写真化**(H28.5)
- ◇写真アドバイザー制度導入(H28.11)
- ◇広報紙モニター制度導入(H28.8)



8

<むすびに>

現在は自由討議、一般質問についてワーキンググループで調査・研究中

「改革に終わりなし」



栃木市議会は、これからも**議会改革**に

取り組んで参ります！

9

これまでに報告会で いただいた意見について ～市への提言～



平成29年度議会報告会資料
栃木市議会

市政に活かされるまで①

議会報告会の開催

結果報告書の作成

提言書「5つの提言」

提言書手交式

市政運営



市政に活かされるまで②

議会報告会の開催



議会

一般質問での政策提言
常任委員会等審査



市政運営

2

提言 1 防災対策の充実を

- 防災行政無線や防災ラジオの環境整備
- 自主防災組織への支援
- 消防団の充実強化

【対応】

- 防災行政無線の整備
- 防災ラジオの難聴地域解消対策工事
- 機能別消防団員制度の導入
- 栃木市消防団再編計画の策定



3

提言2 交通防犯対策の取り組みを

- 通学路の安全対策の強化
- 交通渋滞緩和策の警察署への要望
- 自転車専用レーン整備の検討



【対応】

- 教育委員会を中心に交通、防犯の両面から通学路の安全点検を実施
- 要望を踏まえながら警察署へ要望
- 議員提案による「栃木市自転車の安全な利用に関する条例」を制定

4

提言3 とちぎメディカルセンターへの支援を

- メディカルセンターしもつがの施設整備や医師確保への支援
- メディカルセンターの運営状況や経営状況の情報提供

【対応】

- 案内看板の設置
- 共催で市民公開シンポジウムを開催
- 地元大学病院への医師派遣の要請



5

提言4 安全・安心に配慮した効果的な道路整備を

- 通行者の安全性を重視した道路整備
- 計画的な維持補修の推進
- 県道整備推進に向けた県への要望

【対応】

- 道路パトロールの強化
- 生活道路舗装補修事業予算の確保
- 県へ計画的整備の要望



6

提言5 学校教育環境の整備を

- 老朽化した学校施設の改修やトイレ洋式化の推進
- 「小中学校適正配置基本方針」や「コミュニティ・スクール」の周知



【対応】

- トイレ洋式化（小学校H30年度、中学校H32年度までに全校終了予定）
- 「コミュニティ・スクール」説明パンフレットの配布

7

～むすびに～

今年も提言書を市長あて提出します。

ぜひ、ご意見をお聞かせください。



フリートークにおける意見、要望、回答

○栃木市役所（1階市民スペース） 10月20日（金）

意：メディカルセンターしもつがの経営は非常に厳しい。
議会としてチェックすべきだ。

意：栃木市の人件費は小山市と比較して多すぎる。正職員
や臨時職員の数も多いのではないか。

意：市職員はパソコン操作にだけ時間を割いているように
見える。そんなに事務量があるのか。



要：国府地区の道路の状況は非常に悪いので整備してもらいたい。

要：J Aスタンドから東へ入り東陽中へ続く道路が狭くて危険なため整備をお願いしたい。

要：コミュニティ・スクールを説明した時にとちぎ未来アシストネットのことも説明してほしい。
アシストネットは素晴らしい取り組みである。

要：議会報告会の資料を参加者のタブレットでも見られるようにしてほしい。

意：産業団地だけでなく、ベンチャー企業を誘致すれば若い人も集まると思う。

Q：メディカルセンターしもつがの駐車場は狭い。また、病院内の案内表示が分かりづらい。
産科も作ってほしい。

A：市へ強く要望する。

要：ディステーションキャンペーンのパンフレットには蔵の街だけ載っている。他の地域の
情報も載せてもらいたい。

要：小学校トイレの水洗レバーをセンサーや自動式にしてもらいたい。力のない低学年の子は流
せない。トイレも暗いので明るい雰囲気にしてもらいたい。

要：議会報告会では議員と話すことができるし、いろいろ報告も受けられるので、今後も続けて
もらいたい。報告も分かりやすくよかった。

要：平柳町の五差路の渋滞緩和をしてほしい。

意：議会報告会は子どものいない平日昼間の開催が良い。

要：学童保育にスポットのおやつ代を設定してほしい。

要：個人所有の農地に雑草が生い茂っており、通学路にもなっているため危険である。市に伝えているが進展がない。

要：仕事をリタイアした人が市民のためにボランティアで技術を発揮できる場所を作ってほしい。

要：障がい者と健常者が触れ合えるスペースを作ってほしい。また、障がい者に関する教育に力を入れてほしい。

○寺尾公民館 10月26日(木)

Q：水道工事が行われているが、2箇所つながっていない。また、橋が老朽化しているため新しく架け替えしなければならない。早急に対応してもらいたい。

A：地権者の相続の関係で遅れている。橋の工事は県の事業のため確認する。



意：寺尾南小学校跡地の活用についてふれあいトークで4年続けて要望しているが、地元の意見が反映されない。

Q：ケーブルテレビでの避難指示等が「鍋山地区」だけでは場所が分からないので、もっと細分化してほしい。

A：市へ要望する。

Q：避難指示の場合は、自治会長や民生委員に直接連絡して指示した方が良いのではないかと。

A：広報車などでお知らせしたが、伝わらなかった。連絡手段について検討したい。

意：防災無線や防災ラジオが聞こえないので、FMくららを活用した方が良いのではないかと。

Q：ダンプカーの荷台から採石が落ちて車に傷がつくことが頻繁にある。採石会社に指導してもらいたい。

A：警察署に連絡し、警察署と共に対応していく。

Q：大久保公民館の前の市道が波打っている。至急対応してほしい。

A：ダンプカーの通りが激しく、水道の敷設があったためと考える。舗装を市へ要望する。

Q：鯉沼商店の裏の市道がデコボコである。

A：他の場所も含めて市へ要望する。

Q：尻内西集会所の横の川に汚泥が堆積している。国道293号線まで浚ってほしい。

A：市へ要望する。

Q：消防団員になる人がいない。何か良い方法はないか。

A：消防団OBに入団してもらう制度を今年度から導入した。

Q：政務活動費は足りているのか。チェックは大丈夫なのか。

A：十分という訳ではないが、決められた範囲内で使わせてもらっている。チェックは会派内の責任者と事務局でしっかりと行っている。

Q：永野川の草刈りを地元で行っている。法面も県でやってもらいたい。

A：市を通じて県へ要望する。

Q：寺尾南小学校の跡地利用はどうなっているのか。先を見越した行政運営を行っているのか。

A：何度も会合を行っているが、これといった結論が出ていない。意見の集約を待ちたい。

Q：市役所に行くとき窓口をたらい回しにされる。職員教育をしっかりとしてほしい。

A：市へ改善を促していきたい。

Q：市外への栃木市ゆかりの著名人のPRが不足している。もっと発信力を強化すべきでは。

A：旧庁舎跡地に美術館や文学館が出来るので、完成後はそこを中心に情報発信していく。

Q：市の借金は増えているのか。

A：大規模な事業に取り組んでいるためである。産業団地の開発などにより自主財源の確保に努めている。

意 栃木市はもっと国や県の補助金を活用するべきだ。

Q：寺尾地区で統合する消防団の器具置場を自主防災組織の器具置場として利用させてもらえないか。

A：問題ないかと思うが、市に確認する。

Q：千塚町上川原産業団地の造成により田畑がなくなり、そこに農業用水を引き込むための永野川の堰は必要ないのではないか。大雨の時、溢水の危険があるので、撤去できないか。

A：まだ耕作されている方もいるので簡単に撤去というわけにはいかないと思う。

意：新しい斎場が岩舟地域では遠く感じる。

Q：寺尾南小学校の活用について、議会への答弁でも地域住民の意見を聞いて計画を策定すると言っているが、今後どのように進めていくのか。

A：議会でも利活用に関しては注意深く見守っている。まだ具体的な案はないと思う。

Q：寺尾小学校が指定避難場所ではなくなったが、住民への周知もなく、標識もそのままである。早急に周知を図るべきではないか。

A：市へ伝える。

要：寺尾公民館は教育委員会の出先機関であるが、地域の課題等を建議・具申するための行政組織の出先機関にして、住民及び地域の要望等を受け付ける組織とされたい。

要：公共施設に設置されたAEDは夜間や休日に使用できないので、配置場所を検討すべき。

要：太陽光発電施設について火災発生時等に管理者へ連絡するための標識の設置及び消防団員等の感電を防止するためのシートを常備するよう条例に加えていただきたい。

要：市及び議会の広報はイベントや結果の記載が多い。協働を念頭に行政運営するのであれば、市民が活動した結果や市民に活動していただきたい事項を掲載する必要がある。

要：防災行政無線は320mで聞こえなくなる地域もある。機器改修と支援者制度の周知を検討されたい。

要：栃木市の総選挙での区割は2・4・5区である。合併して組織統合を図るため、さらに国・県・市との施策の一貫性を考えると1選挙区にする必要がある。

○栃木文化会館 10月26日（木）

Q：オリン晃電社の裁判は怎么样了か。

A：最高裁の判決はまだ出ていない。

意：オリン晃電社の件は裁判費用がもったいない。土地の利用を考えた方がいいのではないか。

Q：自転車保険の加入を推進してもらいたい。

A：PRしていきたい。



要：小学校と市役所のトイレにウォシュレットを付けてもらいたい。

要：伝建地区になったことで蔵の改修が難しくなった。規制緩和をお願いしたい。

要：市の予算で小中学校の周辺に防犯カメラを設置し、安心して暮らせるようにしてもらいたい。

Q：栃木文化会館、総合運動公園には洋式トイレが少ない。また、栃木文化会館は階段が多いので、利用者が少なくなっている。

A：市へ要望する。

Q：議場にある大型モニターの採決は、傍聴席からよく見えない。また、議員の顔も見えない。

A：対応を検討したい。

意：栃木市の財政が心配である。人件費が多い。ふれあいバスの見直しが必要である。指定管理料も多い。

意：メディカルセンターしもつがの駐車場が少ない。診察と会計の待ち時間が長い。

Q：第1・第2コミュニティセンターが無いので他の施設に行っている。

A：旧栃木中央小が地域交流センターとなる予定である。

Q：人口が減少していく中で、表流水が必要なのか。市の説明は不十分と思われる。

A：企業立地などで水の需要がどうなるか市へ説明を要望する。

Q：大雨のたびに市内の多くで側溝が溢れている。排水問題を検討していただきたい。

A：片柳町に調整池整備の計画がある。

意：人口減少やインフラの老朽化の栃木市の対応について議会でも研究し、市の計画に対して議会の考えを示してはどうか。

○国府公民館 10月27日（金）

Q：市道1033号線整備の進捗状況は。

A：3件の地権者が移転している。北に向けて用地買収を進める予定になっているが、予算の関係もあり年2～3件の買収となる。事業のスピードアップを要望している。



Q：市へ要望書を提出済みの大宮公民館駐車場の増設の状況は。

A：要望しているが進んでいない。

要：大宮運動広場の補助金の増額、隣接地の駐車場の拡張をお願いしたい。

要：いまいずみ保育園の建て替えをお願いしたい。また周辺の土地を買収し、園庭も広げてもらいたい。

要：千塚町上川原産業団地には雇用を生み出し、市の税収もアップするような企業を受け入れてほしい。

意：メディカルセンターしもつがの待ち時間は長い。医師が少ないのでは。

要：小中学校のトイレにはウォシュレット・暖房便座をつけてほしい。

要：自主防災組織への活動補助金の増額をしてもらいたい。

Q：議会報告会の意見はどれくらい実現しているのか。

A：議会としても引き続き要望したい。

Q：要：下水道が近くまできているが上水道が入っていないのでつなげられない。何とかしてほしい。(樋ノ口南自治会)

A：市へ要望していく。

Q：不登校問題に取り組んでほしい。

A：議員は常任委員会や一般質問などで教育問題に取り組んでいる。栃木市ではコミュニティ・スクールの取り組みが始まった。

Q：政務活動費は少くないか。

A：栃木市議会は適正に使っている。

Q：報告の中で市民に関係する報告は自転車の条例だけだった。もっと市民に関係する活動をしてもらいたい。

A：市民のために政策提言していきたい。

要：国府南小学校は小規模特認校になっているが、評価によっては制度をやめる動きになっているように思われる。制度の周知が十分とは思えないので、続けていただきたい。

意：ミサイル発射の際に頑丈な建物に避難するように言われるが、頑丈な建物はないので困る。

意：川が氾濫した時や氾濫が予想される時は、市で実際に確認してから避難する方が良いと思う。夜中に避難の連絡を受けても判断に困る。

意：防災ラジオを持っていない人に避難情報などをどう伝えればいいのか。

要：イノシシの被害に困っている。(下野国庁跡東側)現場を見てもらいたい。

意：ミサイル発射のJアラートは防災行政無線とは別に考えるべきでは。実際にミサイルが飛んできたらどうにもならない。

意：自主防災組織への補助金が少ない。

要：東陽中学校の通学路で道幅が2メートルしかない場所があり、危険である。(JAスタンドから東へ続く道)10年以上前から拡幅の要望をしているので、早急に対応してもらいたい。

Q：消防団員の確保に困っている。

A：消防団再編の説明があると思うので、その時に意見を反映させてもらいたい。

要：メディカルセンターしもつがの北側入口のところに看板を設置してもらいたい。

要：国府北小学校の南側通学路は信号の押しボタンの関係で左側通行になってしまう場所がある。対策が難しいのであれば、「特別通学路」の表示などを考えてもらいたい。

要：自転車の安全運転の条例を作っていたが、スマートフォンの対策も考えてもらいたい。

要：下野国庁跡は歴史的価値も高く、貴重なものである。地元も協力するので、国や県へ働きかけて復元をお願いしたい。

○大平健康福祉センター 10月27日（金）

Q：農村婦人の家の雨漏りがひどいので何とかしてもらいたい。

A：担当課へ伝える。

Q：集会所の草刈りは要望しないとやらないのか。定期的にやってほしい。

A：どのような対応になっているのか確認する。

Q：防災無線は窓を閉めていると聞こえない。

A：防災ラジオの購入をお願いしたい。

Q：北武井の農道に歩道用の柵を設置してほしい。学校からも要望しているが、一部設置していない箇所がある。

A：現状を確認して市へ報告する。

Q：政務活動費はいくらから請求しているのか。

A：1円から報告書を作成して請求している。

Q：政務活動費は余ったらどうしているのか。

A：すべて返還している。執行率は約70%である。

Q：障がい者相談室が本庁になっているので不便である。南部地域に置けないか。

A：市へ伝える。

Q：特急券の補助金は栃木駅から乗る人だけが恩恵を受けられるのではないか。源泉徴収の対象となるのか。

A：確認する。

Q：栃木市は観光都市にするのか。学園都市にするのか。大学の誘致を行ってはどうか。

A：過去に大学に誘致を行ったが実現しなかった。

Q：蔵の街とは言っても緑が少ないのではないか。

A：以前は蔵の街大通りに栃の木が植えてあったが、落ち葉への苦情など住民の理解が得られなかった。



Q：台風被害の状況をケーブルで中継していたが、市内のどの場所なのか字幕を付けてほしい。

A：ケーブルテレビに要望する。

Q：小学生の通学路に危険が伴っている箇所がある。交通マナーの悪いドライバーや不審者などいつ事件・事故につながってもおかしくない。

A：警察とも連携を図り、通学路の見直しや安全性の確保に向けて市へ提言する。

Q：コンパクトシティについて議会はどのように考えているのか。

A：議員それぞれで認識の違いがある。今後の行政運営に大きく関わることであり、議会の中で議論していく。

Q：組織機構の見直しは行われているのか。役割分担の中で、もっと機能的に職員が仕事をこなせると感じる。

A：施設の統廃合と並行して縦割り行政を見直し、効率性を図るべきと議会でも提言している。

Q：榎本地区の投票所が減り、大変不便になった。期日前投票の期間に合わせて、移動型投票バスなどを考えてもいいのでは。

A：議会としても研究していく。

要：台風21号の影響で土砂が溜まり、永野川の水門が使用できなくなった。担当課には要望しているが、議会からも後押しをお願いしたい。

意：かかしの里にある消防車は子ども達の遊具として使われ人気がある。廃車となった消防車を公園や市有地に置いて活用してはどうか。

Q：新大平下駅西口の開発事業はどんな状況か。

A：平成33年度までには終了予定となっている。

要：新大平下駅周辺に有料パーキングを作してほしい。

要：プラッツおおひらにコンビニを入れてほしい。

Q：自主防災組織を立ち上げるにはどうしたらいいか。

A：自治会で取り組むことになるが、危機管理課へ相談してもらいたい。

Q：クールチョイスとちぎについて、栃木市はどのように取り組んでいるのか。

A：地球温暖化や温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいると思う。

意：消防団員が減っている。子ども達に消防団の仕事や通常点検を見せるべきである。

○真名子夢ホール 10月30日(月)

Q：真名子地区はこのままでは限界集落になる。働く場所がない、人口を増やしたくても農業振興地域のため開発は制限されている。県道両脇も同様である。

A：市は千塚町に産業団地を造成して企業誘致を行い、働く場所の確保に取り組んでいる。農業振興地域であっても市が計画し、県に申請して認められれば転用は可能だと思う。



要：衆議院選挙の時、イオンの期日前投票所に行ったら2区の投票はできなかった。もっと周知が必要なのではないか。また、すべての地区の期日前投票ができるようにしてほしい。

Q：栃木市の衆議院選挙の選挙区は1つの選挙区にするべきである。

A：国会議員の定数削減や一票の格差問題と絡んでおり、市で変更することはできない。

Q：防災無線で流れる市民の歌はとても良いので、昼にも流してほしい。また、子どもが歌ったものなどを日替わりで流してはどうか。

A：担当課に伝える。

意：小中学校のトイレ洋式化を進めているが、体力維持の面から考えれば和式も必要ではないか。

意：西方地域と都賀地域にまたがる場所で稲がイノシシの被害にあった。西方地域の猟友会に駆除を依頼したら都賀地域はできないと言われた。また、都賀地域にイノシシのわなを設置したら危険なので撤去するように言われた。

要：真名子地区には空き家が増えている。空き家にはハクビシンやタヌキも住み着いている。対策をお願いしたい。

要：真上地区の個人所有の山にある林道の整備をお願いしたい。災害も心配である。

Q：太陽光発電施設に関する条例は、使用した後のパネルの処分や現状に戻すことまで定める必要があると思うが、どのようになっているか。

A：許可制となっているので、その辺についても規制している。

Q：栃木市議会は2016年の議会改革度ランキングは何位だったのか。

A：前年の62位より順位は落ちているが、栃木県内では上位にある。情報公開の分野が十分でなかったようだが、大事なことは市民から信頼されるかどうかだと思う。

Q：来年度からの米政策の見直しにより農業はどうなるのか。

A：まだはっきり決まっていないと思う。

要：農業は農地集積が加速し、大規模営農化の方向となっているが、西方地域には受け皿となる大きな団体が無い。受け皿となる団体の育成や他の地域の大規模団体と横断的な交流を要望する。

Q：太陽光発電設置地域の協力があって税金が市に入る。その一部を地元の活性化、特に教育関係に使っていただきたい。（真名子地区）

A：市へ地域への還元を要望する。

Q：鹿の被害が爆発的に増えている。駆除費用の補助をお願いしたい。

A：状況を見て対応を要望する。

Q：西方ふれあいパークのひょうたん池の除草を地域会議の実働組織で実施しようとしたが、草の量も多く、堆積した汚泥のため難しい。業者に依頼しないと実施できないので、予算化をお願いしたい。

A：市へ要望する。

要：自治会への財政的支援をお願いしたい。加入者も減り、活動していくのが大変である。

要：防災訓練を各地域で毎年実地してほしい。

Q：消防団再編計画は団員を減らしてしまうのか。

A：人数を少なくすることではなく、地域を広くして消防団員を集めていく。

○岩舟公民館 10月30日（月）

Q：小中学校のトイレ洋式化の順番はあるのか。

A：調査して報告する。

Q：ふれあいバスの乗車率は向上しているのか。

A：向上している路線もある。

Q：議員定数は各地域に1名確保できないか。

A：地方自治法で規定されている。

Q：広報とちぎは文字が小さく色合いが悪い。市民が読みやすい広報紙にしてもらいたい。

A：改善を要望する。

Q：防災行政無線の今後の設置計画は。

A：順次建設を進めていく。

Q：防災行政無線が遊楽々館に設置予定となっているが、もっと情報が伝わりやすい別の場所にできないか。

A：難聴地域であるため、市へ要望する。



Q：斎場建設予定地は安全なのか。

A：星の宮ため池は安全である。周辺の林道が心配のため、安全性を要望する。

Q：民有地に雑草が繁茂している。草刈りを市から指導できないか。

A：耕作放棄地であれば農業委員会で指導する。

要：要望を出した道路整備について実施する順番を公開してもらいたい。

要：自転車の登録や保険加入について学校で指導してもらいたい。

要：買い物弱者への支援策として静和駅前の農協の建物を利活用してもらいたい。

要：空き家対策について市から自治会へ協力の依頼があったが、もっと詳しく内容を説明してもらいたい。

要：スクールガードのボランティアの拡充をお願いしたい。

要：国道50号線下から東武日光線線路沿い東側が静和小の通学路になっているが、通学路の表示、歩道の整備をお願いしたい。

要：地域の見守りボランティアについて多少でもお礼を用意し、人員の拡大をしてもらいたい。

Q：ドクターヘリの着陸場所が岩舟公民館と遊楽々館のどちらになるかは、どのように決まっているのか。

A：消防署の判断により現場から近い場所に着陸している。

○都賀公民館 10月31日(火)

Q：栃木市は税収確保のためにどんな事をしているのか。

A：千塚町上川原産業団地の造成、佐野藤岡インター東側への産業団地の計画などにより税収確保を目指している。

Q：栃木市に企業が立地した場合のメリットはあるのか。

A：固定資産税の5年間免除などがある。

Q：消防の都賀分署と西方分署の統合はどのようになっているか。

A：都賀地域と西方地域の境に計画中である。

Q：鳥獣被害について市全体で対策を講じるべきではないか。

A：侵入防止柵の設置費用に対して9割の補助金を交付している。また、寺尾地区をモデル地区に指定し、対策に取り組んでいる。



Q：政務活動費を透明化することばかりを考え、議員が本来すべき仕事の時間が割かれていないか。

A：議会としての判断であり、今後も更に透明化を図っていく。

意：政務活動費の透明化に力を入れるなら政務活動費を廃止して、議員報酬に組み入れてはどうか。

Q：建設予定の北部健康福祉センターについてふれあいバスの利用計画はあるのか。

A：利用者の利便性が図れるバス運行の計画を要望していく。

Q：3世代同居の家への補助金などを考えてどうか。

A：住民税の減免処置などを検討していきたい。

Q：学校まで通学距離が遠いので、スクールバスを導入できないか。

A：スクールバス導入にはいろいろ規定があるので、検討していきたい。

Q：県道小山・都賀線の柳原付近の拡張で縁石が邪魔になっているので危険である。対策をお願いしたい。

A：現場を確認のうえ、市へ伝える。

Q：都賀中学校の体育館と武道館の間の道を整備してほしい。また、暗いので外灯を付けてほしい。

A：教育委員会へ伝える。

Q：栃木県の30～40歳代の未婚率は男女ともに高い。結婚相談所を作るなど対策を取ってもらいたい。

A：市では婚活イベントを開催している。行政としてできることは若者が結婚できる社会環境づくり、非正規から正規社員への流れをつくること、子育て支援を充実させることだと考える。

Q：大橋の信号機の西側が大雨になると川の水が溢れ、田んぼに砂利が入ってしまうので、対策をお願いしたい。

A：市へ要望する。

Q：市で野焼き禁止条例をつくるという話を聞いたが本当か。

A：議会では聞いていない。

Q：野焼きは禁止されているが、やっている人を見かける。広報で禁止されていることを周知してもらいたい。

A：市へ要望する。

Q：防災行政無線が聞こえないので、対策をお願いしたい。

A：徐々に整備されていくと思う。市では防災ラジオの普及に努めている。

Q：農振地域では過疎化、少子化で悩んでいる。家が建てられるようにしてほしい。

A：市ではコンパクトシティを目指し、市街地へ家を建てるような方針を取っているが、周辺部への対策も要望していく。

○藤岡公民館 10月31日(火)

Q：商店街で設置した水銀灯があるが、閉店した店舗分の電気料も商店街で負担している。防犯灯と認定して、市で電気料を負担してもらえないか。

A：担当課へ話をする。

Q：防犯灯を設置したが、近隣の農作物に支障があるということで撤去された。

A：自治会長から近隣の同意を得ながら必要な場所へ申請してもらいたい。



Q：自転車の安全運転の条例を作るだけでなく、条例を推進する推進員制度を作ってはどうか。モラルに訴えるだけでは難しい。

A：人を配置すると予算も関係してくるので難しい。学校、企業、家族などで話題にしてもらいたい。小学校では指導、中学校では自転車の点検などを実施して事故防止に努めている。

Q：議会傍聴になかなか行けないので傍聴日の地区割りなどをしてはどうか。

A：傍聴は議会に来て名前を書けばできる。来られない方にはケーブルテレビの中継や議会だよりを見てもらいたい。

Q：岩舟中学校の進入路西側の除草をお願いしたい。

A：学校を通して解決してほしい。

Q：大平東小学校の通学路（真弓地内）の速度制限ができないか。

A：学校を通して教育委員会や警察にあげてもらいたい。

Q：岩舟地域の下津原の県道桐生・岩舟線の丁字路へ信号設置ができないか。

A：丁字路の信号設置は難しいと思う。

意：議会報告会の開催時期は良いが、開催時間を日曜日の昼間にした方が参加者も増えるし、若い人の意見も聞くことができるのではないか。

意：議会報告会の参加人数が少ないと思うので、自治会の役員が参加できるような環境づくりをしてはどうか。

要：道路に面している空き家の雑草や樹木が道路を覆って迷惑している。市へ連絡しているが解決できない。早急に回答をしてほしい。

要：大規模農道の側溝が土砂等で埋まり大変困っている。民家のないところでは広範囲になり個人ではどうすることもできない。

意：免許証を返納した高齢者に対し、電動自転車購入費用の助成をしてはどうか。

Q：中学生の自転車の並列運転が見受けられ危険である。学校でしっかり指導してもらいたい。

A：自転車の安全運転の条例の中に学校での安全運転教育を行うことが明記されている。

Q：藤岡地域の市道1066号線（F6）の工事は終了までどれくらいかかるのか。

A：地主との交渉が難航しているようなので時間がかかっている。順調にいけば6年くらいかかるのではないかと。

要：岩舟地域の水掛から曲ヶ島までの市道の補修と拡幅工事を希望する。

Q：赤麻小からJAまでの道路の拡幅と歩道整備をお願いしたい。

A：まずは地権者の理解をいただかなければならない。

意：わたらせふれあい農園は利用者が少ない。別の方法で利用者を募集してみてもどうか。

Q：近所に空き家があり、親戚も対応せず3年くらい放置してある。どうにかならないか。

A：相続人が不明の場合は対応が難しい。

Q：藤岡地域では人口減少が深刻で耕作放棄地も増えている。経済効果を高める工夫をお願いしたい。

A：市街化区域、調整区域の線引きの見直しを行うべきと考える。国や県に要望できるように働きかけていく。

要：藤岡駅前の活性化を進めてほしい。地権者からの理解がもらえないようなら議員からも協力を働きかけてほしい。

